京城日報

廿七日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾五錢 六ヶ月金三圓三拾錢 一年金六圓六拾錢 郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金[illegible] ▲三號活字の一行は五號活字[illegible] ▲六號活字の一行は五號活字同樣の率
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯 三四五番 二一四番 營業 三二六番 振替貯金口座 京城三〇〇番

◎ヴエルダン大勝
ドーモン、ヴオー共に落つ

佛軍は僅か二十四個師團の兵を以てヴエルダンにて攻勢をとり大勝を博せり敵は佛軍の勢鋭きに恐れ或は降り或は遁走せりドーモン要塞の抵抗を見たるも佛軍は該砲臺を包圍する事六時間に及び猛烈なる攻擊を試みしかば遂に我軍の有に歸せるなりマンザン將軍はヴオー砲臺の占領を宣言せり佛軍は二十四日夜迄維持せる戰線の四分の三はヴオー要塞戰を除けば大部分二月二十四日當時佛軍の據れる陣地なり（巴里電報）

◎羅馬尼危殆に陷る

獨逸公報に依れば、マッケンゼン元帥の軍はチエルナヴオダを占領したりファルケンハイン軍はウルカン隘路を占領したり情報に依れば羅軍は獨勒軍がチエルナヴオダを占領するに先ちダニューブ河を超ねて對岸に撤退せりチエルナヴオダが敵軍の手に陷りたる結果は羅國の地位は甚だ危殆に陷りたり（紐育電報）

◎塞軍獨軍突擊を退く

塞耳軍維司令部附タイムス特派員の電報に依れば、チエルナなる塞軍は前週數次の戰鬪に於て約一千の捕虜を獲獨逸の新增援隊が行へる突擊は擊退せられたりとあり（倫敦電報）

◎英外債三億磅募集

英國政府は三億磅の外債を米國に於て募集する事に決定せり（紐育電報）

◎孫內務總長罷免さる

段總理は廿三日訪問の唐衆議院議長に向ひ內務總長孫洪伊の罷免が黎大總統の認可なき時は自ら處決すべしとの決意を述べ暗に大總統の裁決を強要したる結果孫總長は終に罷免せられたり（北京電報）

◎閣議と協議事項

廿七日定例閣議開會寺內首相以下各大臣出席來年度豫算案及び廿八日より召集の地方官會議に對する施政方針訓示等に關し協議をなせり（東京電報）

◎皇后學校行啓

皇后陛下には二十七日午前九時東京府下瀧野川町東京高等蠶絲學校に行啓あらせられたり（東京電報）

◎西園寺侯

西園寺侯廿七日入京せり（東京電報）

◎山谷氏當選確定

衆議院にては岡山縣郡部選出議員萬代嘉平次氏の補缺として山谷虎三氏（國民黨）當選確定したる旨の通牒を受領せし旨二十七日發表せり（東京特電）

◎演習參加五師團

肥筑の野に於て擧行の大演習に參加すべき第五師團中の第七十一聯隊長梅田大佐引率の下に廿七日朝無事關門海峽運過小倉へ向ひたり第二十四聯隊は二十八日朝門司に到著すべし（門司特電）

◎施政方針に變更なし
寺內首相韓相龍氏等に語る

新舊總督へ挨拶の爲め東上せし京城鮮人代表者趙鎮泰實業家代表者韓相龍の兩氏は二十六日夜歸京せり、途中迄出迎へし記者に漢銀專務韓氏は語る

吾々の一行は李王家より閔長官、貴族を代表しての李容植子又個人として李完用伯府協議員の趙鎮泰氏及び小生の五名で前總督寺內伯在任中の功勞に對して衷心より感謝し併せて新總督

▲長谷川元帥 に親任祝辭を申上るのであつた、小生は新舊總督へ一回宛の御挨拶は他の人々と一所に參り又其後趙氏と同道兩伯の私邸に伺つた、何分首相は內閣組織匆々の事とて非常に御多忙なやうに見受けたが元氣は不相變旺盛でした、吾々に對して「朝鮮には總督として長谷川元帥が赴任され山縣政務總監は依然留任する事となり朝鮮統治の大方針は毫も搖がぬのであるから皆安心して產業の開發に努め國富の振興に貢するやう又諸君に宜しく」との事でした長谷川總督は曾て五年間も朝鮮に軍司令官として駐屯し上下の事情にも精通されてゐるから今回總督として任に莅まれる事に就て朝鮮を懷しんでゐられるやうに伺ひました元帥は十一月下旬か十二月上旬陸軍特別

▲大演習陪觀後 單身御赴任なされると云ふ御話しでした、小生は以前の元帥を存じてゐるから何彼と懷舊談をなしましたが將來相共に朝鮮の開發を行らうではないかとも云つてゐられた、元帥は本年六十七才と承はりますが流石に百戰を經來られた老將軍の事とて壯年の者も及ばぬ程の御精力のやうでした、兒玉伯よりは日曜の朝來いと云ふ事で午前九時頃官邸に訪問しました、所が訪客踵を接し應接室は人で埋まつてゐる、小生等が少時お話してゐる間にも名刺は次ぎから次ぎに取次がれるので直ぐお暇した荒井度支部長官は永らく留守を明てゐるから年內に

▲一度は歸る との事を云つて居られた、大屋、宇佐美、池田各長官には遂に會はず滯京四日匆々にして引揚げて來ました、尙ほ李完用伯等は今尙ほ滯京中です多分立太子式に參列の上歸鮮する事と思ふ

□北京支佛銀行の取付騷ぎ

天津に於ける佛國居留地擴張問題に付き支那當局承諾を與へざるより佛國總領事は二十日午後八時佛國巡査及び安南兵數十名を率ゐ該地の強力佔據を行ひ退去を肯せざる支那巡警を拘禁し爲めに天津地方の騷擾を釀せしが其の影響として支那側に佛國の態度を憤慨し佛貨を排斥すべしとなる北京東交民巷日本郵便局前なる北京中法實業銀行亦二十三日午後遂に取付けの厄を受くるに至れり寫眞は該銀行前群集の光景なり（北京）

◎立太子式奉祝
官民聯合の上倭城臺にて

立太子式當日は各官廳每に奉祝の式を行ふ筈なるが京城は官民聯合にて行ふこととなり二十七日協議の結果十一月三日京城府及び府民一同は倭城臺公園の廣場に集合し金谷府尹の司會にて開會府民一同を代表したる奉祝文を朗讀し續て 陛下が壺切の御劍を皇太子殿下に御授與の時間を期し金谷府尹の發聲にて萬歲を三唱し隨時散會の筈なるが當日は成る可く多數の參加を希望し禮服は不敬に亙らざるやう心得られたしと

◎立儲禮と神社

立太子禮當日神社に於て行ふ祭祀に關する件は府令第九十二號を以て二十八日の官報に發布の事となれり、祭祀の方法は內地と同樣にして府令は勅令の轉載なり

◎李堈公御東上

李堈公殿下は立太子式參列の爲め廿七日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上の途に就かるゝ由なるが隨員は黑崎事務官金武官園木関兩屬の四氏にて往復三週間の御豫定なりと

◎度量衡令成案

總督府農商工部商工課に於て編纂中なりし度量衡令案並に其の施行規則は此程全部脫稿成案となれり、同令案は舊韓國政府時代の制定に係る現行度量衡器法の不備を改正して其の統一を期すると共に益々之が普及に遺憾なからしめむとするものにして目下參事官室に廻附、總督の決裁を經て中央政府に廻付の筈なれば之れが發布の期は未だ確かならざるも本年度內には或は實現の運びを得べし

◎電話區域改正

電話加入區域中改正の件は府令第九十三號に依り二十八日の官報を以て發布の事となれるが其の實施期は十一月一日なり

◎定例長官會議

二十七日は定例長官會議當日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集重要政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎隊署長會議

京畿道警務部にては二十七日午後一時京城府內各隊署長並に各隊署衞生係主任及び警察醫等約三十名を召集し府よりは石原事務官出席隊署長會議を開催し衞生業務に關し打合をなす所ありたり

◎米大使出發期

二十六日夜入京朝鮮ホテルに滯在中なる駐日米國大使ガスリー氏及び同夫人は同國領事の訪問を受けたるのみにて二十七日は一切の訪問を謝絕し一室に籠りて勞を慰せり氏は二十六日出發の筈なりしも都合に依り二十八日朝南大門驛發汽車にて南下の事となれり

◎奧專賣局技師入京

專賣局勅任技師にして總督府囑託たる奧健藏氏は朱安及び廣梁灣鹽田調査の爲め二十八日夜南大門驛著汽車にて入京の筈なり

◎櫻井教授入京

秋田鑛業專門學校教授櫻井資之助氏は歐洲留學の歸途二十七日午後八時五十分南大門驛著釜山發急行列車にて入京す

◎原田朝郵社長東上期

東京に於ける日本郵船會社株主總會に列席のため來月一日頃東上する筈なりと

◎毛利氏出發

十八銀行京城支店副支配人より長崎本店詰に轉せる毛利祐吉氏は二十八日午後七時五十分南大門驛發汽車にて出發す

◎工業懸賞授與
十一月二日頃擧行

京城商業會議所に於て募集したる家庭工業の獎勵に關する懸賞募集の答案は豐永博士の審査を經目下菅木商工課長の手許に於て審查中なるが遲くも本月末迄に結了するを以て會議所は工業部會又は役員會等を開きたる上來月一日又は二日頃會議所にて賞金授與式を行ふことゝなりたる由

◎三和銀行許可
南浦富田儀作氏等の經營

豫て鎮南浦富田儀作氏外七名より總督府に設立認可を申請中なりし株式會社三和銀行は二十五日付許可されたるが資本金は三十萬圓にて目的を一般銀行業務となし居れど主として同地中流商人に金融の便を與へんとするものなりと

◎ハリス博士再び來る

日本美以教會の監督にして日本の精神界に前後三十年の間貢獻する所ありたるハリス博士は本年四月任を辭するに當り朝鮮及び內地に於て朝野知名士の盛大なる送別會ありたるが元來博士と日本とは特別の因緣淺からず既に博士の夫人及び令孃は日本の地に遺骸を埋め居れる等の關係上博士は是非日本を終焉の地と定めたき希望を抱き居り日本の博士と親交ある人々等も亦是非共博士を再び日本に迎へて餘生を樂しく送らしめんとの計畫をなすものあり博士の意嚮も確めたる上遂に相州鎌倉に數千圓を投じたる邸宅を建設し其用に充つることとなりたるため博士も愈々懷しき日本の地に一生を終る覺悟を以て本月十一日桑港發の天洋丸にて來朝の途中にあり橫濱上陸後二三所用を達し十二月六日京城著の旨同氏より某所に入電ありたり博士と同行者は新任日本美以教會監督ウエルシユ氏にして同氏はハリス氏と共に入京西大門の自宅に入り宣教に從事すべくハリス博士は鎌倉に常住し一年に一二回朝鮮とも往復するに至る可きも直接傳道事業には斷らざる由

◎培材學堂記念式

西小門內貞洞の培材學堂は創立以來三十周年に相當せるより十一月一日同校內に於て盛大なる三十周年記念式を擧行する事となり目下種々の計畫中

◎滿洲教育視察團

平安南道管內教育者は滿洲視察團を組織し同地方に於ける教育狀況を視察の計畫成り昨今希望者の募集中なるが一團は約三十名の豫定にて出發期は明年八月なりと

鳥山より
二十六日夜　西海生

▲二十六日午後四時半南大門驛發南行、仕り候、秋の漢江は水量頓に減じ上流近き人道鐵橋工事の進捗に頗る好都合のやう見受けられ候既に御崗石の橋脚は幾本となく並び立ち、其の二三本の上には天幕を掩ひて多數の人夫營々掘鑿しつゝあるやうに候ひき

▲鷺梁津驛には驛員に花好きの人ありと見ゑ、年中概ね其の構內に花を絕やさゞる如し、此頃は丈高きコスモスの多く亂れ咲ける、汽車乘客の目を慰むる事少なからず候、永登浦始興驛附近左側の連山に所々掘り返されし跡車窓より望まれ候、同行の李每申記者は此邊重石の產出乏しからず、爲めに山上山腹鶴嘴の跡を受くる事多きならんと說明いたし候。

▲安養驛附近は例の九月の大水害後其儘にて、列車は假線の上を匍物にでも障るやう徐行いたし候、慘憺たる破壞の跡は今尙ほあらはに殘り、流れざる安養川の水に紅葉せし柿栗の並木の逆さに寫れるは繪になりさうに思はれ候

▲鳥山に七時二十分下車、舊知の驛長と暖爐を圍んで歡談仕り候驛長の談によれば最近ボツ〳〵平澤平野に屬する鳥山米の出荷あり今後久しからずして貨物倉庫は米俵の山積に埋まるべしとの事に候ひき、鳥山と申せば餘り京城邊ては知る人も少なきが、それでも三百の內地人あり、流石に米產地丈け米商人大小十五六軒に及ぶとの事に候

▲「田舍々々と莫迦にして貰ひますまい、これでも小學校には五十人の生徒がゐますよ」とは驛長の話し、東拓移民や農夫此の近在にボツ〳〵あり、土著せる人多き模樣なるは結構に候

◎北鮮旅團演習終了

步兵第三十九旅團幹部演習は大村旅團長統裁の下に步兵第七十三聯隊第七十四聯隊及び羅南騎、砲、工聯隊の將校を演習員とし十四日より會寧以北慶源郡地方一帶に於て擧行されたるが二十日終了大村旅團長以下演習員は二十二日歸羅せり（羅南）

◎鮮銀券發行週報

十月十五日より二十一日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均額は左の如し

總發行平均額	三三、四八〇、八九〇
正貨準備發行高	一一、三六六、五一二
保證準備發行高	二二、一一四、三七八

大邱

▲龜尾大新開驛 京釜線若木金線間改良工事に屬する迂回線は已に全部竣工しし愈く十一月一日より龜尾、大新二驛を開き同時に舊線全鳥山驛を廢すべし▲大邱府西門市場移轉 大邱府西門市場附近に虎疫發生の爲め當分の間西門市日を東門に移し次回より東門市場は一箇月十二回開市する事となれり▲牛市場移轉 大邱西門牛市場は惡疫流行の爲め當分のうち府外新川橋畔に移轉開市に決定▲物產品評會審查員決定 慶北道管內にて十一月開催すべき重要物產品評會審查員長は岸道技師にして審查員は各專門道技手及び技術員若干名に決定せり▲米豆檢查成績 慶尙北道輸移出穀物改良組合にては十月中旬米豆檢查數量は左の如し米倭箭、千八百五十一叺を最高とし總計五千九百二十叺にして內優等六上格二、九四〇、下格二、九七四、再調四五七叺大豆も倭箭九千四十九叺を最高とし總計二萬一千二百五十四叺にして內優等なし上格一〇、二四九下格二、〇〇五、再調一、四四三叺なり

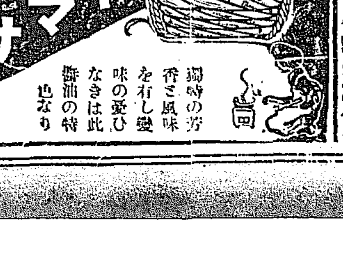
仁川

▲當道館秋季大會 仁川道町當道館にては來る廿八日午後七時より秋季大會を催す可し京城よりも來會する劍士ある由▲美濃谷氏寄附 二十八日は美濃谷氏令孃八重子の一週忌に當るを以て親族知己を招待すべき處之を廢し學校組合基本金中に若干圓仁川敎護院に二十五圓を寄附したり▲魚住氏寄附 仁川山手町魚住春俊氏は令息の七々日の返禮を廢して三十圓を仁川尋常高等小學校基本金中へ寄附したり▲銀行會社臨時休業 仁川各銀行會社にては十一月三日の立太子式御當日臨時休業をなし祝意を表す可し▲事務所合併 仁川米穀檢查所は同業團體なる穀物協會に於て經營し來れるも實際の事務に當つては何等聯絡無きを以て今回事務所の合併を行ひ同時に今明日より事務所の模樣替をなす可しと

人事消息

▲中島八郎兵衞氏（殖野礦山技師） 二十六日夜入京浦尾へ
▲藤門滿吉氏（礦業家） 同上
▲富田熊作氏（京都貿易商） 廿七日朝入京同上
▲秋田謙氏（運送業） 入京中の處廿七日朝退京
▲河東銓氏（礦業家） 同上
▲佐治孝太郎氏（陶器商） 同上
▲高橋克親氏（朝鮮埋築株式會社重役） 廿六日釜山著
▲津田鍛雄氏 漢城洞六番地へ移轉
▲吉田孝三郎氏（京城憲兵隊副官） 十六日開城へ赴き同日歸任
▲京城高等學校職員生徒 九十七名二十六日夜開城より歸校
▲フレンチ大佐（救世軍司令以下四名） 二十六日開城へ
▲田中仙太郎氏（朝鮮水產株式會社重役） 二十六日夜入京
▲安武千代吉氏（熊本市師團士） 二十六日夜入京不知火へ
▲都築鑑氏（安那醫學士） 二十六日夜入京奨綿旅館へ
▲高橋大佐（總督附武官） 二十七日東京へ
▲韓相龍、趙鎮泰兩氏 廿六日夜內地より歸京
▲臼井水竣氏（開城醫學士） 廿七日平壤より入京同十三京

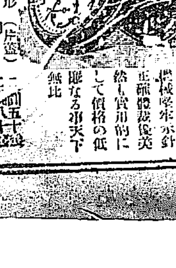
宮內省御用達
最上醬油元祖
開業二百七十二年
銚子 濱口吟醬
ヤマサ醬油



各所の酒、醬油店にて販賣す
獨特の芳香と風味を有し變味の憂ひなきは此醬油の特色なり

質 京城黃金町一丁目 永樂町（高留所北入） 堀佐營業所（電話六三九番）

新荷著 スヰツツル製懷中時計



機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

ニツケル側 十八形（片蓋）
同 同 [illegible]
同 十六形 [illegible]
同 十四形 [illegible]
同 十七形 [illegible]
ラジユーム付目暗十八形 同 [illegible]
金鍍金 十六形（兩蓋） [illegible]
金パリ 十八形（片蓋） [illegible]
同 十年保險 十六形 [illegible]
同 十年保險 [illegible]
銀側 十八形 [illegible]
以上三百圓迄各種

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店には無き所のものなれば至急御用命被仰度候尙地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン器械、自轉車、洋酒各國直輸入商
イングレツシー商會
本店 京城本町二丁目電話九七二番

石炭購買入札
一、撫順切込炭四萬五千貫
入札ハ拾壹月拾參日希望者ハ當隊ニ就キ承知アレ
步兵第七十七聯隊

解雇廣告
鳩谷宇三郎
右の者解雇致し候條爾今當店とは一切關係無之候
九月廿日
京城旭町一丁目 果物商 森下孫市商店

立太子記念スタンプあり
大正琴
新案登錄四〇九〇號 長二尺一寸 音譜爪糸付 共二圓四十錢 同中二圓 同 漆塗金蒔繪 井神代杉 添料共 大正琴製造所 東京淺草 小四十錢 上 振替二十錢 前桐一製 各三十錢 滿韓 支那 發送料 ...

立太子式奉祝の爲め大勉强仕候間多少共御用命被仰付度伏て奉願候

京城永樂町二丁目 石野商店 電話二五〇一番

●朝鮮銀行の紙幣 滿洲で人氣が良い

哈爾賓以南に盛んに流通する

長春は日支露三國勢力の接觸點である丈に通貨もまた日支露三國の通貨が混淆行使されて其の種類の如きも大袈裟に云ふと千差萬別と云ふ有樣である、露國の通貨は數種の哥銅貨と數種の哥銀貨留銀貨

數種の留紙幣とが

有つて其の價格は每日倫敦金塊相場に依つて高低が有る爲め馴れない者は飛んだ馬鹿を見て割の惡い兩換をしたり贋造貨幣を掴かませられたりする、其の上二十五哥以下の銀貨は何れも眞の銀ではなく白銅に銀鍍金をしたものだと云ふので支那人などは非常に露銀貨を受取る事を嫌ふと云ふ有樣である支那の貨幣に至ると其の亂雜なる事一通りでない、奉天官銀發行の紙幣もあれば馬蹄銀も大きな取引には用ゐられるし小洋錢大洋銀角銀、何分などといふ銀貨紙幣も通用すれば或は奉天吉林兩省內の錢莊の責任

手形のやうなもの

も流通して居るが長春に於て主として日常の取引に行使されて居るのは吉林官帖であつてノッペラボウの大きな紙幣は誰の目にも一見して其の贋造の容易なる危險を思はせる其の上價格の高低著しく到底安心して授受する事は不可能である、其處で此の官帖には隙間なしに文字が書入れてある即ち『何月何日某殿に御渡し申す何誰』と云ふやうな事が細字でそれから夫れへ無數に書込んで有る要するに此の紙幣を持つて行つた先きで受取りを拒むだ際には他の貨幣又は其の價格ある物品と交換するといふ

證書を紙幣の內へ

書入れて有るので日本人などには一寸想像されぬ事である政府の發行した兌換券が個人の證明がなければ信用されないふ狀態に成つて居る、日本の貨幣の種類も亦甚だ多く這入つて居るこれほど多種類の通貨が日本にも有るかと日本人自身が驚くばかりである日本銀行の銅貨銀貨紙幣の各種は云ふに及ばず朝鮮銀行の兌換券、韓國政府時代の各種銀銅貨、韓國銀行兌換券、正金銀行兌換券、朝鮮銀行大連支店の兌換券各種及び廿七八年戰役の際に

大藏省が發行した

軍票まで未だに使用されて居るたゞ有難い事には日本の貨幣は何の硬貨紙幣と云はず何處へ行つても一圓は一圓で押通して一厘一毫何年を經ても價格の高低が無いから支那人も非常に信用して円貨を受取る事を悅んで居る殊に朝鮮銀行の大連支店から發行された十錢二十錢一圓五圓の紙幣は其の體裁の優美なると兌換の簡易なるとの爲めに非常に支那人の間に迎へられ長春以南の鐵道沿線は

到る處此の兌換券

の流通を見、遠からず東淸鐵道ハルピンに至るまでの南部線の通貨は鮮銀兌換券の流通範圍に歸するであらうと一般に觀測されて居る

◈御題詠進の書式

新年御題詠進は一人一首限り料紙は小奉書、杉原紙又は美濃紙に限り宮內省御歌所宛に差出すべき事は既報の通りなるが其の書式に相違の點あるを以て左の如く訂正す

竪一尺五寸 ツ折

遠山雪　名上

裏面書式　現住所　族籍　氏名

●大仕掛の紙幣僞造

十圓兌換券七百枚＝連累者悉く檢擧

咸鏡南道安邊郡文川面韓鳳南(三)は彫刻に巧なるより江原道江陵郡連谷面許致(三)と共謀し咸南定平郡の山中に於て大仕掛の紙幣僞造を企て本年舊五月より十月初め迄に朝鮮銀行十圓兌換券七百枚を印刷し中二百五十枚を行使の目的を以て携帶し咸興に至り中五十枚は共犯者なる咸南安邊郡文山面蔡弘默(三)に與へ兩人は二百枚を所持し咸北地方に入込み行使せんと十日頃西湖津發北航の全羅丸に乘船し十三日淸津に上陸せしを探知して手配中の淸津警察署の手にて逮捕されたるが一方五十枚の僞造紙幣を分配されたる蔡弘默は同類たる咸南安邊郡堵花面吳根魯(三)同張宗根(三)忠北玉川郡利南面崔日京(三)慶北大邱府西北面南學瑞(三)等と共に之れを携帶して陸行淸津に至る途中成興、連湖、北靑、城津、吉州、明川、鏡城郡朱村縣にて各一枚宛を行使し本月十六日淸津に來り鮮人部落新岩洞にて行使の現在を檢擧せられ目下警察署にて取調中なるが他にも尙ほ同類者ある模樣なりと(淸津)

●東京日日新聞社燒失す

二十六日午後七時丸の內なる東京日日新聞樓上より漏電の爲め出火し印刷部を燒し編輯局事務局を燒失せり附近には警視廳、帝國劇場、警視總監官舍、報知新聞社等あり一時はかくの困雜なりき(東京特電)

●突れて吐血

全北南原郡南……らくの間互ひに口角泡を飛ばし居た……初め突かれたる右胸部に非常なる痛……五日一件書類と共に檢事局に送らる

●談合事件

▽審理進行 第一日の詳報

京釜線改良工事談合に關する小林長兵衛外十七名に對する控訴公判は廿六日午前十時より大邱覆審法院に於て開廷さる 裁判長塚原庄三郎氏陪席判事丸山、森田の二氏、檢事松村逸樓氏臨席辯護士は東京より花井、鵜澤、殿木の三博士及び大井、小川の二氏、京城より岡田、安住、木尾、赤尾、朝倉の五氏大邱より堀池、加藤の二氏合計十二名にて已に

▼衆目を惹ける

事件丈けあつて新聞記者側は大垣京城通信社長を始めとし山縣高等法院長、黑川檢事長、柳澤地方法院長、大川島湖南日報社長其他十名餘特別傍聽席には中村檢事正、服部警務部長、中山憲兵隊副官、竹崎大邱府尹を始めとして十餘名の臨席あり普通傍聽席は混雜な感かり最初より制限を加へたる爲め左して混亂せざりしも戶外には

▼傍聽人の山を

造りつゝあり 齋藤裁判長は被告十八名を三名宛六組に分ち訊問を開始し悠々として迫らず流石の熟練振りは一層の注意を惹かしめたり 各被告に對し事實の訊問了り安住辯護士は被告沖田、土屋に對し工事竣工實費と請負額と損益を質し沖田は新洞、若木間竣工期限明年二月なりしも已に九月に竣工を見、工事費(利益を除き)約九萬三千餘圓是に談合二萬三千圓を加算すれば十萬三十圓の請負額を超過し損失を招きなるは明かなれど始めて指名請負の榮譽を得たれば

▲損失を眼中に

置かずして工事に着手せる旨を供述し土屋は新洞大邱間の請負工事竣工期は明年四月にして現況八分通りの進捗を見、實際の工費を概算すれば合計十一萬七千餘圓に達すべく加之ならず今年は降雨其他の故障にて損失を來たせしもの又一萬三四千圓を下らざる旨を供述し(請負額十二萬五千圓)是にて正午休憩となり午後一時開廷齋藤裁判長より種々の證據調を了り朝倉辯護士よりは加藤鐵道局經理課長若くは大屋長官を證人として喚問を申請し小川辯護士よりは從來證人として鐵道局側の喚問ありしも未だ被告側の證人喚問なし京城の堀內、小谷は鐵道局一般の請負工事に對する慣習の實際を調査の爲め

▼喚問を申請し

松村檢事は堀內、小谷より請負事業の內容を聞くが如きは一審に於て已に鐵道局よりは加藤、丸山の證人喚問をなしたれば今更に意見を聞く必要なし又不必要にして若是等を知らんと欲せば被告等に聞くの勝れるに如かずと證人喚問の不必要を主張せり依て裁判長は合議の上決定すべしとて合議室に入り此間約四十五分間を要したるが合議の結果加藤經理課長、堀口、小谷の證人喚問は之を却下し裁判長は職權を以て稻垣工務課長を喚問すべき旨を宣し閉廷せしは午後二時四十分裁判所は直ちに電話にて稻垣工務課長喚問の手續をなせり

▽第二日 午後四時半開廷

二十七日午前九時を以て引續き開廷の筈なりし京釜線談合事件控訴公判第二日は當日證人として喚問せられたる稻垣鐵道局工務課長の出廷無かりしため同氏が午後四時五分大邱著列車にて來著出廷するを待つて開廷する事となり定刻開廷を見ざりしが十時過ぎ被告側の辯護人勝本博士より證人として小城鐵道局建設課長の喚問申請ありたるより午前十一時臨時に開廷し合議の結果之れを却下し十一時半閉廷せり(大邱電話)

國を擧りて

◇天長節祝日及立太子式當日の地方

◇大提灯行列ミ菊花展覽會＝淸州

來る十一月三日立太子式當日の奉祝に關し二十四日午後八時より淸州郡廳に各官廳代表者町內總代等集合して協議會を開きたる結果各係委員を設けて當日午前九時道廳構內に擧行の奉祝式を終り同十一時より東公園山上に全市民の大祝宴を開き午後は鮮內各學校生徒一般參加者等により大々的國旗行列を行ひ當夜は樂隊を先頭にして各戶より必ず一名宛參加して約一千餘名の大提灯行列を行ふ外本町通り(場所未定)に菊花展覽會を開催し一般の觀覽に供する等個人の催し物町內の催物等あり相當の賑ひを呈するならん尙時節柄飲食物に對しては嚴重取締りをなす筈にて既に準備中なり

◇拜賀式＝大邱＝

二十一日には慶北道廳內に於て一般拜賀式を擧行す可く二十五日附を以て大邱府廳より一般府民に通達せり拜賀の時刻は午前八時三十分より十時卅分なりと

◇市街裝飾＝群山

來る十月三十一日の天長節祝日及び十一月三日の立太子式當日の奉祝方法を協議すべく天野府尹は廿五日午後四時より府廳樓上に重なる官民數十名を招致し愼重に凝議する處ありたるが群山は虎疫の終熄して間もなく時節柄例年の如き奉祝宴を廢し天長節祝日には府廳に於て拜賀式を行ひ市內各戶に國旗軒燈を揭揚し奉祝する事とし立太子式當日は左の方法を以て群山府民は御大禮奉祝の誠意を致す事に協議確定したり

(一)午前十時迄に府民一般は群山神社境內に參集の事(二)同十時二十分第一回號砲(煙火一發)の合圖に依り萬歲奉唱の準備をなし各者の號令に依り東方に向ひ一齊に最敬禮をなし正十時三十分第二回號砲(煙火一發)に依り一同萬歲を三唱する事(三)同十時三十分府內の寺院、諸工場及び汽船等は汽笛吹鳴し鐘を三分間打鳴らす事(四)午後七時より官民合同大提灯行列を行ふ(但し小學校普通學校生徒を中心とし各官衙、會社、銀行商店を網羅すること(五)當日は晝夜に亘り煙火を打上ぐる事(六)府內要所に綠門を建設しアーク燈を點じ裝飾する事(七)當日は各戶國旗及び軒燈を揭揚する事(八)府內各町よりは假裝行列其他各種の催し物をなすべく委員を定めて之を奬勵する事

□神社大祭

群山神社にては來る三十一日の天長佳節は大祭日なるを以て大祭典を執行すると共に神社境內に於ては素人相撲柔道擊劍の神前仕合其他各種の催しある筈なれば定めて空前の賑ひを呈するなるべし

●賊の足跡を趁うて(五)

丈餘の萱の中に潜伏した形跡＝油布警部の談

尤も兇行の際は九名であつたが後に二名を增員したのは一名の首魁と別に從者か又は道案內が同伴したものと推測される賊等は同家から粟二斗五升小麥粉一斗蠟燭二十四本現金五十七圓其他衣類雜品等數十點を掠奪して悠々と引揚げたが其の一擧手一投足は

▽首魁の呼笛

に依て動作してゐる所頗る馴れたものである爲めに崖の一家は賊等の行動を恐れて俯伏しになつた儘樣子を窺つてゐた賊等は其後附近の峠路を徘徊してゐたといふことを認めたといふものがあつた、夫れを同地の自衛團から官憲に急報した、依つて搜索班が實地の檢分を遂行したが

▽丈餘に達す

る萱の中に休息したらしい人の跡があり附近には杖の折れたもの、脫ぎ棄てた草鞋のちぎれなどがあつた、此の草鞋を仔細に檢すると藁の一目〳〵に泥深く泥土が食ひ込んで居り如何に賊等が逃走に就て苦心慘澹したかがこの一事で充分推測される、彼等は官憲の追跡に惱んで殆ど滿足に道路を通行したのもではなく、野といはず山と選ばず、溪間、峠は勿論

▽田畑の中を

も一直線に疾走したものであらう、更に彼等が地の利に明るきと、兇行を敢行するに恰月續きの當九月十日頃から十六七日頃迄を利用してゐたことなど頗る用意周到の計畫に依つて遂行されたものである、併し官憲では縱令如何なる難關險路をも構はず極力檢擧に努め、殊に彼等が立籠つたと思はれる深山幽谷は些の餘す所もなく到る處

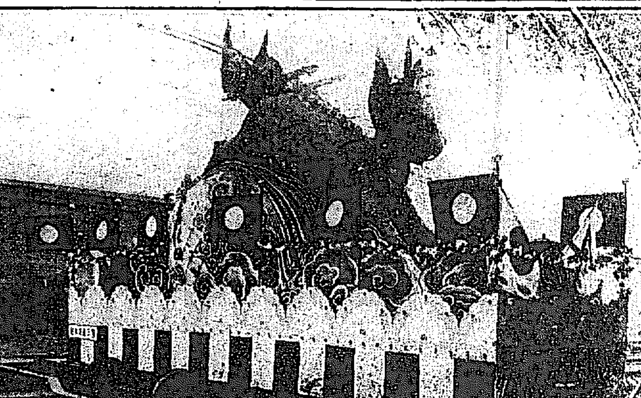
▽殆ど卷狩的

に搜索班が變裝して經緯縱橫に縫ひ廻つてゐるから近く一大快報の到達することであらう其れから滑稽なのは私が或る路傍の店で變裝をした際店の老爺は異樣な風采の人が續々やつて來て今日はもう十八人目で飯を出せ〳〵の催促であるが近來なき利得であるが何分材料の買込みに困るから昨日から

▽飯の値上

げを致しましたといつてゐた、是は言ふ迄もなく搜索班の變裝隊である、要するに地方の人民も今や餘程官憲の行動を助けるやうになり昔のやうに賊を擁護するやうな惡癖がなくなつたから搜査上にも幾分利するやうになつた(完)

附記前號北鮮茶茶署長が現場に自動車で到著した際六時間を要した旨記載せしは同日午後六時到著の誤り又賊が巡査の銃器を强奪とありしは他の一行の銃器の誤りにつき訂正す(記者)



天長節奉祝の大阪電車裝飾

●岩本氏死去す

回生病院に入院したる岩本榮之助氏は二十七日朝十時三十分終に死亡せり(大阪特電)

●茶屋町の朝火事

二十七日午前五時四十分頃京城茶屋町李重穆方より出火したるより當備消防本町署員出動して防火に努めしも隣家金貸業吉村某方に延燒し二戶二棟を半燒し同六時鎭火せり損害約百二十圓李方にては前夜餅搗きの爲め焚火をなしたるものが熱過度にして壁に燃え移り煙突の周圍より發火したるものなりと

●鮮人小兒屍體

仁川府松峴里海岸に年齡四歲位の鮮人男兒の屍體漂着せるを里民が發見し最寄交番所に届出でたれば係官警察醫同伴檢視を遂げたるが他殺の疑ひなく溺死したるものと判明したれば假埋葬に付したり

●自動車 卅尺の崖より墜つ

三代議士ミ乘客多數の重輕傷

二十六日午後五時頃岩手縣盛岡乘合自動車は盛岡を距る二里宮古街道に於て三十尺の崖より墜落し車體は粉碎し十五名の乘客中負傷者十三名を出し內三名は重傷なり負傷者中には目下同地方に遊說中なる政友會代議士兒玉亮太郞、齋藤珪次、工藤吉次氏等あり(東京特電)

●元山初氷

元山にては二十七日朝氷を見たり例年に比し八日早し(元山特電)

●又も眞性患者

京城西界洞李健輝長女李福童(一四)は二十四日死亡採便檢鏡の結果二十七日眞正コレラと判明し本町警察署にて同日消毒をなせり

●調理研究會例會

仁川調理研究會にては二十五日午後三時より富町榮亭に於て第六回月並會を催したるが課題は五品付會席膳(質價四十錢見當)にて出品數は非常に多く其他の爲め六七點に過ぎざりしも何れも粹を凝らし技を練りたる事とて審査者に取りては至極骨の折れにして殊に婦人の如きは直接應用上非常の興味を以て調理方の說明を求め居たりき因に同會にては仁川高等女學校長より來る三十一日開催さるべき同校學藝展覽會に調理品の出品を求められたるを以て同會終了後會員一同協議の上出品すべき旨決定せる由

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▽一口噺

▲讀者『深い出世だれー、醫者で大臣になつた人があるて』與太『フーム、すると俺の倅も大した出世なんだなー、醫者で代診になつてゐるから』　京城 神崎生

▲四日市にペスト患者發生とあるを見た與太『今に眞底金が出來るだらう』　龍山 山家呑公

▲花園の前を通つた二人連れの注文取り甲『コリヤ何て花ダイ』乙『コスモスさ』甲『フーン如何にも見たいな花だナア』　木浦 曉村

▲一將校『酒保へ行て煙草を持つて來い』と言付けると新兵の當番復唱して曰く『ハイ酒保』へ(行て)玉子(煙草)を持つて參ります　京城 宮番長

◆一等なし

◆課題及び募集規定は欄外にあり

讀者文藝課題募集規程

▲募集規程 ▲用紙は端書又は別同の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事……

天氣 曇り時々晴れ 十月廿八日

●家庭の福音

◇滋養豐富健康の素 玄米飯き方
◇玄米コーヒー製法
◇玄米菓子製法
◇玄米ミルク製法
教授開始

◎多年苦心いたしまして、玄米飯の完全なる炊き方及玄米コーヒ玄米菓子玄米ミルク製法を發見いたしました此玄米飯の炊き方は至極簡單にして豫て普通白米を御炊きになる器があれば充分です御家庭で直ぐに出來ます御婦人方には是非共必要なる事です其他何人と雖御希望の御方には此方法を傳授いたします
◎玄米には脂肪蛋白澱粉植物質要素も備はつてあつて人體の營養となるべき滋養物は完全に備はつてあるのでありますから玄米を常食とせらるれば身體を健康ならしめ胃病脚氣病等發する患がありません
◎又脚氣患者が常に食しますると如何な重體も必ず全快して再發の患なし
◎此炊き方で飯となつたものは夏でも二日位は腐敗の患ひなく安全に保つ事が出來ます又腹に入つてから自然に消化しますから病人が食しても何等の障りがありません
◎次に此方法で玄米を搗き上げますと保存上虫喰となる虞がありません
▲傳授時間僅かにて出來尙出教授も致します
京城南山町三の一七 消防所前
玄米調理法教授所

京城本町三丁目

吉山學明
人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
大日本陰陽學會朝鮮支部

內科 小兒科
入院隨意
京城日出小學校前
多々見醫院
電話九四〇番

新規開店廣告
今般其筋の認可を得て仁川米豆取引所仲買人新規開業仕り候に付多少に不拘御注文成被下度誠實親切に御取扱可申上候間御愛顧の程奉願候也
仁川府海岸町三丁目
仁川米豆取引所地內
大五仲買店
電話三〇九番 長九一二番

眼科 內科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
入院隨意
本田醫院
院長 本田建義

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店
電話一〇三九番 振替口座四三九番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七・九〇九番

…飲食店金潤台方に至り同店中なる住實那東溪面李鍾鐵が飲酒中の處に到り何か侮蔑的の言辭を以つて李を冷罵したるより李も大いに憤怒して暫く…梁は下手より李をなして二回許し…李の右胸部を突き更に李を蹴返し…て滅多矢鱈に打擲したるが李は其後…を發したるもの\如く加害者梁永允は直ちに其筋の手に捕へられ一應取調べの上廿…

獵天狗講話

■鹿の巻■

扨總て何動物でも雌の動作は荒いものですから雌の足跡は比較的すなをにしてをるが雄の足跡は爪先が土に深く印してをるのと時々不規律になつてをる然し是れ許りでは中々あんしんできぬ五六丁

▽其足跡を探り つゝ進む内に糞がある此糞に依りて判然と見分を付ける先づ十中八九迄間違ふ事がない雌の糞は殆ど棗目の如き形ちをして居りますが雄の糞となると棗目の形ちをしてをつて頭にくゝりがついてをる之は正に雄に違ひないと

▽鑑定が付く さあ其足跡を追跡して進む早きは四五日位にて接近しますが遲きは十五六日も掛る漸くにして此足跡及脫糞の模樣では昨日若くは今朝早く此所を通過した者らしいとなるさあそうなると打場を選定しなければならんなせならば

▽草が繁茂し て五六尺にも成つて居りますから姿を見る事が出來ないそこで鹿の居ると思ふ處の前面へ先き廻りをして草木もなし一方は岩石直立して居る樣な處を見出し鹿はどうしても其處を通過せざれば逃げ道なしと云ふ樣な場所を選び一人は其處に

▽待ちかまへ てをる一人は足跡をしたうてこんどは可成大きな聲をだして鹿を追ひながら進むのです扨其の選定した場所即ち打場へ間違なく鹿のやつ行くかどうかと云ふが問題です然したいていは行きます高山になると一番高き

▽峯の頂上は 虎の領分其次ぎ八合目位が猪熊の領分其下が鹿其亦下が獐と云ふ準になつてをる鹿獐の如きよわき動物は中々自分の領分を離れる樣な事はないです、

─△會のいろいろ▽─

◉釜山中學の拜戴式 廿七日午後六時五十七分草梁着の列車にて總督府田部屬 皇后陛下御眞影を拜戴して來釜に付廣田釜山中學校長は三浪津に奉迎し同夜同校に奉安し翌廿八日に同校職員生徒一同は草梁停車場に奉迎し嚴肅なる拜戴式を擧行する筈

◉仁川秋芳會 仁川有志より成る秋芳會は來る三十一日より四日迄五日間東公園に各自栽培の菊花を出品し觀覽會を開く可く府廳に同公園廣場の使用許可を出願したるが天長節及び立太子式御當日には官民の遙拜式を擧行のため許可なかりしを以て止む無く宮町二丁目吳家に於て開催する由なるが出品數は五百點以上に達す可しとの事なり

回筑前琵琶演奏會 二十八日午後六時より朝鮮ホテルに於て江頭旭米氏の大演奏會開催旭米會の發會式を兼ねて旭昇、旭水、旭雌諸氏の演奏ある筈

◉京城青年會講演 二十八日午後七時より同會に於て左の講演あり『予が見たる露國の近情』皮革會社取締役佐渡秀光君『如何なる人を偉人と云ふや』ソウルプレス社長山縣五十雄君 佐渡君は今春露國首府ペテログラードに赴き親しく同國の近情を觀察したり

◉黃州の運動會 黃州公立尋常小學校、普通學校に於て十一月一日秋期運動會を合同にて開催する由

神社とお寺と教會

○西本願寺（若草町）二十八日午前十一時より報恩講執行一般參拜者の燒香ある筈

○東本願寺（南山町）二十八日午前七時午後十時より報恩講あり

○曹洞宗別院（若草町）二十八日午後八時より宗祖忌ありて法要及說教あり

たいどころ その日

△チエストナツトプデング 栗をゆでて二つに割り中身をほじり出してよくすりつぶし裏漉しにかけ鍋に入れて砂糖を加へて煉り牛乳を加へ生玉子を割り込みニクヅキ（香料）を入れてよくよくかきまぜてプッテング形にバタをぬりたるに流し込み天パンにならべ天火に入れ上六分下四分位の火にて燒く（青木はつ子）

◈草の根ものがたり

漢藥貿易―商人の買收―七八百圓から二千圓―大當外れ―一貫目二三錢とは

歐洲戰亂の影響として輸入藥品騰貴の結果は漸く在來の草根木皮の漢法藥に對して世人の注意を喚起するに至つたが近頃北鮮淸津には此の漢法藥から

◈一珍談 が持ち上つたそれは北鮮地方巡回の一賣藥商が北鮮の野に生ずる一草根を取り之は漢藥黃萱と稱するものであるとて幾干を採取して之を見本として持歸つたのを窃に見聞した淸津の或貿易商は商機逸すべからずと早速田舍に人を派して之が買集めに著手したるが此黃萱と稱するは北鮮到る所の山野に生じ一日一圓二三十錢を採取するのは易々たる事であるから鮮人はよい金儲けと盛んに採取せられて淸津市内に牛車でドンドン持込まれたのであつたが

◈此奇異 なる物資に對して他の貿易商は何條見逃すべき探查の結果黃萱と稱する藥品で之を移出せば正に九倍の利益があると云ふ事を知り他の商人も早速買集に掛つた折角何れも七八百圓乃至二千圓を買收したが扨て內地其他へ取引方交涉した結果其黃萱なるものは

◈似て非 なる者であるからとて誰とて取引しようとするものもないので貿易商は大當外れ一貫目十錢內外で買集め八十錢內外で賣らうとした目算がらりと外れてどうやら一貫目二三錢の燃料になる外はあるまいと何れも大袈裟の態である

宮本武藏

第百九十九回　桃川如燕口演　浪上義三郞速記

福島驛へ參つて大塚屋專右衛門といふ旅籠屋へ著く、店先には大きな盥へ水を汲んで出してある、脚絆草鞋なぞは札紙を附けて向ふにかゝつて居る、女中は店先に立て 女『入らつしやいまし、お早うございます、嘸ぞお草臥さまで』と世辭を云つて居る、處へ曉雲二天の二人は其處へ來て 曉『ハイ宛しておくれ 女『是は入らつしやいまし、嘸ぞお勞れさまで 曉『女中や、二人であるが何分お賴み申す 女『毎度有難うございます、お荷物は此方へ、お二階へ御案內をいたします 曉『餘り騷がしくない靜な處へ通しておくれ 女『畏りました』と直樣兩人を二階の奧の座敷へ通します其處へ通つて休息をして居る處へ女中は茶を持て參り 女『只今お風呂が空きましてございますからお入りなさいませ 曉『あゝ左樣か、それでは一と風呂入つて來やう、何うも風呂に入らん內は草臥が脫けないから』と風呂へお出になり二タ風呂ばかり入つて座敷へ戾つて來た 曉『イヤ二天、宜い湯であるから入つてお出で 二『左樣なれば一と風呂入つて參りますから』と二天は下の風呂場へ參つて入浴をして今風呂場を出て裏梯子から二階へ上らうとする、右手の方の小座敷の障子が開いて居たから其內を見る氣もなしに覗いて見ると、六疊許りの座敷で中央に毛氈が敷てございまして其上に大きな硯、筆立には十二三本の筆が差してある、又水鉢に水を張り繪具皿なぞが五六枚重ねてあつて向ふの處に萌黃の風呂敷を掛けまして屛風半双壁に立かけてある、是を見て二天『フン是は如何さま此の屛風に畫でも描うといふので支度がしてあるものと見ゆる』と其の座敷に入つて右の屛風を擴げて見ると、六枚折の金屛風 二『是は宜い屛風だ此の位な屛風ならば描くに張合がある、久しく筆を持たなかつたから描いて見たいものだ』と前の通りにして置いて店の方へ來て見ると、店の帳場の內に居たは良人の亭主、今晚は厄介などで 專『是はお二階のお客樣、只今は又多分のお茶代を下さいまして、又女共へまでお心附けを有難うございます、只今お禮に上らうと思つて居りました所で 二『イヤ僅かなことで態々禮に參るにも及ばん、今風呂へ入つて參つたが 專『風呂は如何でございます、溫うございましたか 二『熱くなく溫くなく宜い加減であつた 專『左樣でございますか、まア御悠然遊ばしまする樣 二『今亭主、俺が風呂場から出て裏梯子を上らうとすると、恰度其の下の小座敷に屛風が半双立かけてあつたが 專『左樣で 二『本來お前に斷はつて見るのであつたが斷はりも云はずに一見したが何うも結構な屛風だな 專『ヘエー屛風を御覽下さいましたか 二『如何にも美事なものだ 專『あんな屛風でも旦那新らしく作りますとかゝりますもので、八兩三分かゝりました 二『然りであらう、處で畫筆なぞがあつて是から屛風へ描うといふ趣向であるが、誰かに賴んで描せるのか 專『左樣でございます、江戶の畫工で雪山と申します先生が此の宿へ來て逗留つて居りますが、其の雪山に賴んでございますから其の內に來て描いてくれませう 二『フーン成程 專『其下樣の前でございますが、然ういふ先生ですから安くは描きません、先づ描き賃の十兩も遣らなくてはなりますまい、それに弟子を一人伴れて來ると云ひますから其の弟子にも禮をしなければならず、畫筆は地廻りでは叶けないと云ふので、江戶から取寄せました、逗留中は酒肴を持て馳走をいたし送り迎ひだなどと却々物が要ります、先づ出來上り四五十兩はかゝりませう、然し捨へて置けば私共の寶物になりますので 二『然うである、乃で其の雪山といふ男はもう來て居るのか 專『イエ未だ參りません 二『何歲位な男だ 專『もう五十以上でございませう 二『五十以上といへば其の男も老込みだ亭主の前だが、悸う見ゐても俺は畫工だ、俺が一ツ其の屛風を描いて遣らう

外科一般 皮膚科 淋尿器科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

三花 遠藤商店 京城大平通二丁目 電話九八二番

特製 菊の餅賣出し 製菓博士 本城屋

內科 小兒科 婦人科 京城醫院 村上憲佑 本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番

十月廿九日 九星 舊九月三日 己亥 本命七赤 西 除 赤口

▲七赤 見切のつかぬ事有る日新事見合南方は吉暗劍西▲八白 金運の日轉居旅行入學名弘建方適ひの事有る日新事手控 萬吉▲九紫 交渉は吉女難小盜を防がるべし▲一白 賣收よき日轉居開業入學名弘 大當りの日轉居旅行入門名弘金談水產業等 萬吉▲二黑 求職出席婚禮大なる金融を計る等 萬吉▲三碧 平運の日物の準備を爲すは吉新事手控物の事は吉女子は抑されぬよふ用心の事▲四綠 新事手控物事は抑されるよふ用心の事▲五黃 品よき日轉居旅行商入名弘金談探職婚禮貿易業等 萬吉▲六白 腕押のきく日轉居開業入門名弘求職婚禮上金談

商況

公債直取引（東京）

二十六日相場（前日との比較）

五分利	八二、三〇

深川在米特電

二十六日現在高

朝鮮米	一四五、一九九
臺灣米	八七、四七三
內地米	一二三、六二三

東京期米特電

廿六日前場	十二月限	後場
寄付	一五、一〇	―
高値	一五、一九	―
安値	一五、〇六	―
止め	一五、一九	―

大阪株式特電

銘柄	拂込	二十六日前場	後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	―
神戶電鐵	[illegible]	―	―
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	―
和泉紡績	[illegible]	―	―
合同紡績	[illegible]	[illegible]	―
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	―
同新株	[illegible]	[illegible]	―
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	―
大阪商船	[illegible]	[illegible]	―
日本郵船	[illegible]	[illegible]	―
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	―
東京新株	[illegible]	[illegible]	―
大阪株式	[illegible]	―	―

大阪三品特電

二十六日後場

十月限	一七八、九〇	一七八、九〇
十一月限	一七六、〇〇	一七六、九〇
十二月限	一七五、九〇	一七七、〇〇
一月限	一七六、一〇	一七七、五〇
二月限	一七六、二〇	一七七、五〇
三月限	一七六、〇〇	一七七、三〇

大阪期米特電

二十七日前場

	寄付	止め
當限	一四、七三	―
中限	一五、〇五	―
先限	一五、四二	―

下關切米特電

二十七日前場 晴 期近受米悲觀安

	當限	中限	先限
寄付	一三、六〇	一四、二七	一四、五〇
高値	―	一四、二七	一四、五六
安値	―	一四、二五	一四、四四
止め	一三、二七	一四、二五	一四、四七

雜報

◉綿糸行悩ふ 頃日來米綿より狂熱を演じたる綿糸も二十六日は米綿七十錢安に氣勢を殺がれ三品後場は別項入電相場の如く行悩へ模樣となり現物十六手一圓安を報じ同日の綿布に至つては一反二十錢方の瓦落を演せし旨某店へ移りあり今前場は不備綿切り迄に入電なきを以て其成行不明なるが月米關係棉安及過日來の急騰に對し一時的に悩み氣味を示せしに過ぎざるのみならず更に或程度迄引戾を見るこそ却つて步調の健實を證するものにあらざるかと

◉木綿類上進す 頃日來原料綿糸日に增し昂騰の爲各產地共不引合の聲を唱へ何れも製造に手加減を施せしのみならず各買入も高値に恐れ兎角控へ勝の態度なりしに相場は一向に顯著せずして益々昂騰の一方なれば內地市場は一層品ガスレの模樣となり且つ歲末大需要期に向ひしと共に最早買方も我慢し切れず僅に買物を手當し始め相場は漸く上進の步調を示せり

◉ショールは強硬 布地綿糸の騰貴に伴ひ本年は昨年以上の好調にして內地需要は勿論洋方面への輸出も頗る盛んにして各產地は到底製造の注文に應じ切れず相場は强硬を持續し居れり

俟て相場は益々新値 原料高と相俟つて相場は益々新値を現はすに至らん見込也

◉米餅高氣配 米餅は最近四千個神戶へ入港あるべき筈なるが一般罐詰類の價格騰貴の折柄本品の如きも追々强含の成行きを辿るべし

◉支那方面頗る有望 支那方面は本年は例年の如く大荷の大部分は同國に仕向る事なれば相場は益々强く值段を見込みを立てたる買付ける

京城正米

△朝鮮一等白米（常用）	十五圓二十錢
△同	十五圓三十錢
△優等大豆	九圓九十五錢
△同	十圓
△同（塊口）	九圓九十錢
△金界大豆	十圓
△永洞大豆	十圓二十錢

京城雜穀

大豆は上物七圓六十錢を持合の姿にて小豆は矢張行悩へ氣味にて新物は上十一圓五十錢以下九圓二十錢を唱へられ居れり一時非常の勢を示せし胡麻は一氣暴騰を遂ぐ後依然として此處依然堅調を持續せり小豆は十一圓五十錢を唱へ高値は十七圓五十錢位にて取引せらる

十錢安 前日より十錢安にて古米は一圓七十錢乃至一圓四十錢以上にて富値段は十錢安見當の手合ひにて當時新米の出盛りにて各期後に於ける手控へ新米に比し下落後依然强硬の模樣なり

▲南大門の廻穀

烏山玄米	五六叺
天安白米	四〇叺
平澤玄米	二五七叺
烏山白米	五六叺
烏山白米	二八叺
烏山白米	一四叺
連川大麥	二三叺
烏山白米	四〇叺
鳥致院白米	一九〇叺
太田玄米	一八九叺
鳥致院白	三四叺
平澤白米	二七叺
平壤胡麻	三〇叺

新米の出盛り期を控へ一般人氣は先安を見越されつゝあるも過日來何程も相場は引下ぐる程の出廻りを見ず精米原料に適するもの未だ潤澤ならされば相場も此間下値より持合ひの状況となり爾後漸次出廻り增加の傾きなる時期と見て買物は追々增加の何分時期的の關係上相場は弱し

下關相場

▲朝鮮白米は氣甘し 其後百二十叺の廻着に過ぎずして別に賣り急ぎ物あらずと雖も產地の如きは追々新物の出廻り增加しつゝありて兎角軟弱の情報を唱へ居る杯自然買氣の進まざる爲め賣行き捗々しからずして市況氣甘く出來値は左の通りなるも只の小口手合せのみ

▲大豆は依然底堅し 本品は既報の如く元來先安見越しの折柄とて自然買氣進まずと雖も何分其後の出廻り多からぬのみならず產地も依然安からぬ杯各荷主の賣り腰强きに依り相場は十錢乃至三十錢に傚値物百叺口は九十錢等に手合せ行はれ其他弗々出來物は左の通りにて入荷したるは揚部物四百六十叺元山物百四十叺等也

▲小豆は矢張弛ます 其後北海產出後の廻着に過ぎざると產地も依然安からぬに連れ各手持筋の氣張り居る爲め更に市況弛まず

◉生果類漸次回復 生果類は一時の虎疫警戒の反動として需要漸く多く入荷は日々百個內外二百個迄にて目下の虎疫防衞の關係上めて順を得つゝあるもの\如く從つて氣配も各種共に好調なり出來値は林檎優品一圓四十錢柳玉九十錢より一圓內外梨槙上一圓六十錢平柿一個一錢より一錢一厘丸柿六十七厘處なり

米穀豆粕取引所仲買人 海岸町三丁目 三巴仲買店 電話三三三番 振替口座京城四〇二三

◉鹽鯖は好況 大邱より鹽鯖二噸著荷ありしが時節柄其他鹽類の高値に連れて本品も平均七錢見當の高値なり以つて殆ど飛ぶが如くに賣行きあり又江原道方面より入荷せし鹽太刀は品質優り良好ならざるも他の勢に連れ一錢處を以つて弗々出廻りつゝあり

▲十錢パラの神戶乘り四圓 十錢之を移入せんには包裝荷造り運賃等の諸費用を加算して當地着の値段は二圓以上の高值となるが新米の時期に相場の上向を見たる値到底買行きの見込みなきより今後新期の移入は望み難き模樣なり現在持品は內地高を耳にし値安に手放す譯にもならずされはとて高値には買人なき有樣にて此處僅少の現存品も行惱みの姿なり

◉鹽鰤更に高し 昨今は前報後更に相場の上向を呈し昨今進み入荷なき以上到底入荷は望み難かるべしと

仁川現物市場

▲叺入津 六七百俵氣配變らざる唱へへ居れり▲正米入津少なし氣配は弱保合を唱ふ▲大豆入津なし▲小麥入津なし

釜山◉市場 廿七日

▲正米（變らず）同着品は日々相應にあり賣り物は新古米ことと相當の事なれども何樣上品の賣り物の少なく買人の各種米筋も本日は餘り買ひ進まず兵補充買ひのみの爲め氣配は漸く保合の狀態なり又移出方面には本邦各地在荷減少の爲め弗々買注文はある樣子なれども何分上品の賣り物なき爲め思惑的商談もなく小口取引のみなり

▲大豆 依然同着品勢なく底堅手緊き腰勢を示し保合の商狀なり新中三十九個、支米一千二百五十五個、大豆四百六十二個

仁川期米

▲二十七日前場 大阪天候晴 寄付は兵庫前寄十五圓四十錢にて高値 前場寄十五圓四十錢の入電二十一錢と昨止り二十錢高 錢と安移りにて當地寄付は 二錢と昨止より三錢高 高移りに四錢と跳ね保合の折柄大阪八節四十錢九節四十二錢と 高移りの襃に小戻し成行を示して收合

▲二十七日前場 前場當限⊖十二圓五十錢川米高六百五十石▲中限⊖十二圓四十錢川米高四百石▲先限⊖十一圓七十九錢八十一錢⊖八十二錢⊖八十錢八十一錢一錢⊖八十錢⊖八十三錢⊖八十三錢四錢三錢

市場零聞

▲依然保合ひ 天候晴 大阪の前場小緊き機先なるも今前場大阪の寄付を受けて十一圓七十九錢と寄付けるも買擇多く八十一錢と跳ね跡ドタ一に保合たるが市場は依然保合にて見るべき商內行はれず海內の折柄大阪跡引返しを移して八十四錢と伸し三錢と歡合を告げたり市況は依然氣乘りせず僞めの賣に對する買物は少ざなかつた斯くて一般は新值を賣ふべき場合であるとも言はれた

▲前場の手振 市場は閑散にて見るべき商內行はれずの八十錢の小口商內であつた

▲展開未だし 北濱を控へ生氣を呈したると共に人氣は氣迷ひ市場は一向展開するの模樣なし然るに大阪の成行は比處月末に際し相當の商内にて兎に角堅調なる立直りを見たるに新規買方の商狀益々活潑なる立直りなるも此處は一途に買方の主力を以て同氏の波瀾を待つのみ居れり何なる成行きを呈すべきか

▲蜚說頻々 某强氣筋の見込にて種々なる蜚說行はれ居るは今更非なき事なれば昨今仁川期米界の大取組に際し眞方の一部より擬々流言蜚說を放ちたるも其爲め七月限の大取組阪某新聞所載する處に依れば當地米材料の一として賣方の第一部より買方の多大の朝鮮米の氣崩れを迄付り時期に際し處分せしもの\如く買方を恐れしめざるに過ぎざるを得ざるか分を暗に大阪へ交涉し來れる爲め朝鮮米の氣崩れに見越したるがの虛說なりとせり是等或る者の爲にする虛說ならん共後者の錯しは同し是等の事情の無根なりしを證明し居るが如く强氣筋は左程根底の薄弱なる連中に非ず連月渡しの米のあらん限り受米を敢行し本月も一萬石內外の受米を敢行するとの事なれば左程悲觀するの要なからん殊に受米は當地にて各精米所及京城方面へ大部分賣りたりとの事にて殘れるは例

仁川米豆取引所仲買人 まるに日 仲買店 支配人 土居勝 電二八二番、八三番

仁川米豆取引所

廿七日の十二月限

前場	
寄付	十一圓七十九錢
止め	十一圓八十三錢
高値	十一圓八十三錢
安値	十一圓七十九錢
出來高	三千四百五十石

平均値段	
一節	十一圓八十一錢
二節	十一圓八十一錢
三節	十一圓八十一錢
四節	十一圓八十一錢
五節	十一圓八十三錢

賣買取組高

十月限	六千七百石	一高
十一月限	五萬四千百石	
十二月限	六萬二千二百石	
二十六日後場	二十萬石	前日と比較 一高

▲當限豫想 當月限は明後日限月を以つて納會となるべく今尙ほ表面六千七百石の取組あり裏面の喰合ふ分も見ゆれば一萬石以上ありとの事に何れは一萬石內外の大受渡しと見るならんとの事

半數に減少 今や仁川の依然大に減少し約半數に減少したる者あり…僅少の折柄一時の者にして本年の依然時局に大阪米…以上…なる樣子に見へ本年…仁川の現物米筋…へ向け…あり

北濱だより

人氣は高調に達し買ひさへすれば必ず儲かるとの感念を瀰く一般市人に與へ土地株の如きは帝や熱狂に近き昂騰振りを示したのであるから相場の律として一寸押目がなければならぬ此處一寸押目がなければならぬ處へ…折に當株の百順序となつて居つた折に…て居る…

▲下押しの度 を深めたまでに別段に悪材料が現はれた爲めでもなく一面には相場は一部の人々の…土地株のみは人氣是れひが爲めに…からざる必要…

乾物小賣相場

イリコ	一五〇匁	シイタケ	二〇〇匁
ダシコブ	一五〇	チリメン	一八〇
カチグリ	八五〇	アジシオ	一三〇
ザリメンザコ	三〇〇	カマス	一二〇
カンピヤウ	二〇〇	ゴマメ	一八〇
ニシン	一三〇	スルメ	七〇〇
サヨリ	一八〇	イタコンブ	二二〇
ホシダラ	一三〇	アナゴ	二二〇
ホシマダラ	一〇〇	シロイタ	二八〇
ホシカレイ	三〇〇	トロロ	三五〇
センタイコ	一八〇	タラノコ	三五〇

小賣白米

現金賣 一等白米	十五錢五厘
次白	十五錢

佐賀縣基里村 結核專門 古賀病院 鳥栖田代驛より四丁

演藝案內

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 黃金館 電話二八五二（階上） 二八二七（階下）

十月二十六日より特別大興行 ▲實寫トン君の智惠 ▲世界的探偵奇談 黑い箱 全十五編三十卷續き ユニヴァーサル會社傑作 東京朝報連載 ▲奇怪なる黑い箱…不思議なる死の手…不可解の人類の…實現…ゼー…氏の…

日本活動寫眞株式會社特約代理店 大正館 櫻井町 電話八七三 全十場

○秋の宵 ○德川家康と血槍九郞 ○天然色活劇 ○泰西活劇 ○新派悲劇…

有樂館 本町一丁目 電話二六六

△十月二十六日より優秀なる新劇を提供 △實寫アルプス山公道旅行 △宮崎新派古大將伯 △山崎長之輔一座出演 ○新派悲劇 なぎさ

御成座 成町 電話一九一番 （全七場）（全二場）

△第六回大演説 ○新羽衣 （一）和歌三人（二）

△重なる配役 宮城二女重乃（花園）宮城家長女菊江（岩見）新聞記者一馬（母雅子）藝者爲吉、馬鹿の萬作（津田）大學生木守秀夫（小松平）石沼丁山（筒井）石沼佐太郞（浪石）初ヶ谷薄風（淺川）宮城一馬（静間）師島三（日野）

浪花館 明治町 電話二六〇

○二葉會主催長唄大會 △廿七日午後五時より △番組 △吾妻八景△雛鶴三番叟△連獅子△松の緣△小鍛冶 吉田雀△老松△筑摩川△勸進帳 朝妻△鶴龜△末廣狩△紀州道成寺 題未定 中祭連中

尺八樂譜解說 筝曲 尺八樂譜 流派 東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂童

豫報

京城溫度 廿八日正午 攝氏 前日 最高 最低 四十九度五分 三十三度三分 七分

八十八夜 五月一日　入梅 六月十二日　半夏生 七月二日　二百十日 九月一日　彼岸 三月十八日 九月二十日　社日 三月廿三日 九月廿八日

二等（三十名） 同はる 韓相龍 趙鎭泰 千鶴子 同宗太郞 荒川正雄 同久米 須古健三 村田保一 中川善三郞 村上みつ 三浦くに 西村榮一

廿六日 上林作 竹村松三郞 外崎三 阪本徳造 小松一 井上字之吉 坂田貫 三等（五十一名）

同十月二十九日 同三十日 同一日 同二日 同三日 同四日 △次回一日曉前

一週間以內に到着發見通告者には五十錢贈呈す（但何番何號と明記に限る）

汽車時刻

ライオン歯磨

慈善券引換殘餘金第拾五回決算報告

一金壹萬八千九百九拾八圓參拾四錢六厘 但自大正四年壹月至同拾貳月満一ケ年間ライオン歯磨（小袋入）壹千八百九拾九萬八千參百四拾六袋賣捌に付此慈善券總金額

内金八千六百圓八拾錢五厘 但自大正四年壹月至大正四年拾貳月満一ケ年間ライオン歯磨慈善券付空袋八百六拾萬〇八百〇五袋引換金額

差引金壹萬〇參百九拾七圓五拾四錢壹厘

内金壹千貳百六拾八圓七拾九錢八厘 自大正五年壹月至大正五年八月廿五日 ライオン歯磨慈善券付空袋百貳拾六萬八千七百九拾八袋引換金額

差引引換未濟 金九千百貳拾八圓七拾四錢參厘

右金額左記之通り分配致候也

金額	地名	團體
金參百貳拾圓	東京市小石川區大塚町	東京市養育院
金參百貳拾圓	同 京橋區銀座二丁目	救世軍慈善事業部
金參百貳拾圓	岡山市門田屋敷	岡山孤兒院
金百參拾五圓	大阪市役所内	大阪弘濟會
金百參拾五圓	東京市芝區芝公園	日本赤十字社
金百參拾五圓	同 麹町區飯田町	愛國婦人會
金百參拾五圓	同 牛込區市ヶ谷河田町	帝國軍人後援會
金百參拾五圓	大阪府神津村	博愛社
金百參拾五圓	大阪府生野村	大阪汎愛扶殖會
金百參拾五圓	東京府下澁谷町	福田會育兒院
金百參拾五圓	東京市神田區元柳原町	東京出獄人保護所
金百參拾五圓	同 赤坂區青山南町	東京育成園
金百參拾五圓	同 麹町區飯田町	婦人共立育兒會
金百參拾五圓	東京府下巣鴨村	家庭學校
金百參拾五圓	横濱市南太田町	横濱孤兒院
金百參拾五圓	同 根岸	幼年保護會
金百參拾五圓	山梨縣身延	身延深敬病院
金百參拾五圓	名古屋市中區矢場町	愛知育兒院
金百參拾五圓	廣島市尾長村	廣島育兒院
金百參拾五圓	熊本市新屋敷町	熊本回春病院
金八拾圓	東京市本所區若宮町	無料宿泊所
金八拾圓	東京府目黒村	慰癈園
金八拾圓	同 巣鴨庚申塚	瀧乃川學園
金八拾圓	東京市下谷區上野櫻木町	同愛社
金八拾圓	同 四谷區鮫河橋谷町	二葉幼稚園
金八拾圓	北海道函館區新川町	函館慈惠院
金八拾圓	神奈川縣鎌倉町	鎌倉小兒保育院
金八拾圓	前橋市岩神	上毛孤兒院
金八拾圓	仙臺市北四番町	仙臺育兒院
金八拾圓	岐阜縣武儀郡富野	清水育兒院
金八拾圓	豐橋市東田	豐橋育兒院
金八拾圓	金澤市常盤町	小野慈善院
金八拾圓	神戸市中山手通	神戸孤兒院
金八拾圓	松江市内中原	山陰家庭學院
金八拾圓	同 北田	松江育兒院
金八拾圓	鳥取市東町	鳥取育兒院
金八拾圓	神戸市役所内	戰役紀念保育會
金八拾圓	熊本市西坪井町	肥後慈惠會
金八拾圓	福岡市下祇園町	龍華孤兒院
金八拾圓	長崎市稻馬場町	長崎盲啞學校
金八拾圓	朝鮮京城	京城濟生院
金五拾圓	東京市本郷區本郷二丁目	白十字會
金五拾圓	布哇ホノルル	布哇日本人慈善會
金五拾圓	新潟市學校町通	新潟育兒院
金五拾圓	長野市元善町	大勧進養育院
金五拾圓	長岡市大工町	長岡福田園
金五拾圓	同 坂上町	長岡盲啞學校
金五拾圓	秋田市國助町	感恩講保育院
金五拾圓	小樽區奥澤	小樽育成院
金五拾圓	小樽區住ノ江	小樽慈惠病院
金五拾圓	小樽區奥澤	小樽盲啞學校
金五拾圓	靜岡市井之宮	靜岡ホーム
金五拾圓	岐阜市梅ヶ枝町	岐阜訓盲院
金五拾圓	名古屋市葵宅町	名古屋養老院
金五拾圓	津市丸ノ内	三重濟美學院
金五拾圓	大津市三井寺内	滋賀縣育兒院
金五拾圓	金澤市上鷹匠町	金澤育兒院
金五拾圓	京都市二條	平安徳義會孤兒院
金五拾圓	同 聖護院町	京都救濟院
金五拾圓	同 岡崎町	平安養育院
金五拾圓	大阪市中ノ島六丁目	大阪婦人ホーム
金五拾圓	同 天王寺細工谷	大阪約翰學園
金五拾圓	大阪府天王寺村	大阪養老院
金五拾圓	神戸市奥平野稲谷	神戸愛隣館
金五拾圓	神戸市下山手四丁目	神戸養老院
金五拾圓	同 荒田町四丁目	神戸報國義會
金五拾圓	岡山市花畑	岡山博愛會
金五拾圓	岡山縣笠岡町	甘露育兒院
金五拾圓	廣島市大須賀	廣島孤兒院
金五拾圓	山口縣長府町	防長孤兒院
金五拾圓	佐賀市水ヶ江町	佐賀孤兒院
金五拾圓	長崎市浦上山里	長崎浦上養育院
金五拾圓	鹿兒島市鷹谷町	鹿兒島養育院
金五拾圓	松山市府中町	愛媛慈惠會
金五拾圓	丸龜市府中	海南慈善會
金五拾圓	高知市本町	高知慈善協會
金五拾圓	臺灣臺北	臺北仁濟院
金五拾圓	東京市深川區西平野町	勞働共濟會
金五拾圓	大連市伏見臺	大連慈惠病院
金五拾圓	埼玉縣浦和町	埼玉自彊會
金五拾圓	水戸市上市北三丸	水戸保護會
金五拾圓	滋賀縣膳所町	滋賀縣保護院
金五拾圓	東京市淺草公園第五區	淺草寺救護所
金五拾圓	和歌山縣有田郡	和歌山有田學園
金五拾圓	沖縄縣那覇區	沖縄自營會
金五拾圓	宮崎縣宮崎町	日州出獄人保護會
金五拾圓	京都市東寺	濟世病院
金五拾圓	新潟市西堀通三番町	新潟盲啞學校
金五拾圓	大阪市惠比須町	大阪職業紹介所
金參拾五圓	山口縣山口町	山口育兒院
金參拾五圓	東京府大久保百人町	慈愛館
金參拾五圓	千葉縣成田町	成田山感化院
金參拾五圓	前橋市内前代田	前橋積善會
金參拾五圓	高崎市下横町	高崎育兒院
金參拾五圓	福島市濟明町	福島育兒院
金參拾五圓	仙臺市元寺小路	東北慈惠院
金參拾五圓	山形縣鶴岡町	鶴岡育兒所
金參拾五圓	弘前市新寺町	東北育兒院
金參拾五圓	豐橋市東田	豐橋盲啞學校
金參拾五圓	三重縣桑名新町	九華育兒院
金參拾五圓	富山市總曲輪町	富山慈濟院
金參拾五圓	福井市尾上仲町	福井縣育兒院
金參拾五圓	横濱市根岸町字竹の丸	横濱基督教訓盲院
金參拾五圓	島根縣濱田町	石見慈育院
金參拾五圓	大分市東新町	大分育兒院
金參拾五圓	長崎市東中町	長崎孤兒院
金參拾五圓	鹿兒島市武町	鹿兒島聾啞學校
金參拾五圓	高松市二番町	讃岐學園
金參拾五圓	徳島市福島本町	阿波國慈惠院
金參拾五圓	鳥取縣倉吉町	因伯保兒院
金參拾五圓	東京府下下澁谷	報恩會
金參拾五圓	盛岡市加賀野	盛岡孤兒院
金參拾五圓	東京府瀧ノ川町中里	東京養老院
金參拾五圓	京都市姉小路通	京都盲啞保護院
金參拾五圓	大阪府今宮村	大阪自彊館
金參拾五圓	奈良縣丹波市町	天理教養徳院
金參拾五圓	長野市西後町	長野盲啞學校
金參拾五圓	大分市大分	大分盲啞學校
金參拾五圓	滋賀縣彦根町	彦根訓育院
金貳拾五圓	奈良縣磯原町	大和育兒院
金貳拾五圓	若松市滝ヶ小路町	會津孤兒院
金貳拾五圓	水戸市上市仲町	茨城孤兒院
金貳拾五圓	前橋市神明町	前橋育兒院
金貳拾五圓	福島市宮ノ下町	福島訓盲學校
金貳拾五圓	同 郡山町	郡山訓盲學校
金貳拾五圓	盛岡市花屋町	岩手育兒院
金貳拾五圓	新潟縣小千谷町	魚沼孤兒院
金貳拾五圓	同 中頸城郡春日村	和敬孤兒園
金貳拾五圓	同 古志郡新組村	寶珠育兒園
金貳拾五圓	札幌南七條西一	札幌育兒院
金貳拾五圓	靜岡縣吉原町	富士育兒院
金貳拾五圓	愛知縣岡崎市	岡崎盲啞學校
金貳拾五圓	岐阜市加納町	日本育兒院
金貳拾五圓	三重縣四日市濱田	三重感化院
金貳拾五圓	福島縣須賀川町	須賀川幼兒保育所
金貳拾五圓	青森縣八戸町	東奥盲人學校
金貳拾五圓	埼玉縣川越町	川越就實園
金貳拾五圓	千葉縣千葉郡貝塚村	千葉縣歸性會
金貳拾五圓	宇都宮市戸祭町	下野三樂園
金貳拾參圓七拾四錢參厘	東京市淺草區森下町	少年修徳會愛兒院

合計金九千百貳拾八圓七拾四錢參厘

拜啓 大正四年度ライオン歯磨小袋入添付の慈善券引換に就ては曩に謹告致し候通り去る八月廿五日を以て全く締切申候 元來ライオン歯磨慈善券は專ら不幸なる鰥寡孤獨を救恤する目的を以て弊店の創めたる微衷に外ならず候處締切期日に迫るも引換を了せらるべき金額の多額に殘れるは深く遺憾とする處に有之候仍て該慈善券引換未了殘餘金處分法に就て更に江湖の高見を仰ぎ候處當年も御示教を忝うせしもの御多數有之候得共矢張前例に依り慈善事業に喜捨すべしとの仰せが御多數の御意見に候儘喜捨すべき各方面に向つて嚴密なる調査を遂げ候上尚ほ前例通り市内特約販賣店主 灰谷儀助君 田中吉兵衛君 柳下藤五郎君 天野源七君 佐々木玄兵衛君 三輪善兵衛君 諸氏の綿密なる審議協賛をも得て前記の如く割振確定致し直に其寄附萬般の手續を終了仕候に付ては茲に謹んで第拾五回の決算報告を明かにし併せて内外に亘る愛用各位の深厚なる御同情を感謝し更に倍舊御愛顧の程を伏して奉冀上候 頓首

二伸 ライオン家庭用歯磨大袋入は一般各位の御意に協ひ候と相見え、近年御需要頓に激増致し、慈善券付小袋入の販賣額を凌駕するに至り候にも拘らず、尚ほ斯くの如く慈善事業に喜捨するの運に相成候は全く各位眷顧の賜と特に御厚禮申上候

大正五年拾月

ライオン歯磨本舗 小林富次郎

東京市本所區外手町六番地 支店 大阪・名古屋・漢口

京城日報

第三千版

仁川米豆取引所

稍弛強し　大豆入電の一高一低に七十四錢八十一錢と寄付き……大阪昂騰を移して一躍九十錢と上放れたあつた

[illegible]

朝鮮の珍書　青山仙客

（四）

○日本人の詩に、所謂る倭習あるが如く、朝鮮人の詩にも、亦た朝鮮習あり。如何に摸倣は巧妙なるも、到底異物には敵せざる也。吾人は詩に於て、未だ其力を角せざるに先ち、支那人に對して、五割の弱目ある也。

○『東人詩話』は、朝鮮の徐居正の所著也。居正は大節の名家にして、東文選等の著あり。我が足利氏の中期、應仁、文明頃の人也。此書は成化十三年—我が文明九年—密陽府にて刊行したりと云ふも、朝鮮にては、遂ひに一本をも、見出すを得ざりし也。

○予は幸にして、本邦の覆刻本を得たり。是れ眞享年間、京都に於て出版したるもの也。其の來歷は、明曆元年、朝鮮信使來聘の砌、其の隨員李明彬が、京都本國寺に駐留の際、其の舘伴たる菊池東匂に貽りたるものを、其子原鵬溟が、覆刻したるもの也。

○其の內容は、李益齋の櫟翁稗說に及ばざるも、先づ雁行するに足れり。其の支那人の詩を評する、附和、雷同にあらざれば、倭人の觀場に過ぎざるも。朝鮮人の詩を品騭するに於ては自から、別樣の手眼なしとせず。

○驪興淸心樓、古今題詠者多。……日本釋梵齡云『消磨月商知遠寺。長林叢蕉辨遙山。』消絕、圃隱鄭文忠公一絕云、『烟雨空濛滿一江。樓中宿客夜開窓。明朝上馬衝泥去。回首滄波白鳥双。』釋梵齡とは何人ぞや。我が僧侶の入韓者ならむ。恨らくは其の全詩を揭げざることを。鄭圃隱の詩に到りては、河東の鄭常が『諸詩固好、終不若此詩閑遠有味』の評の允當なるを覺ゆ。乃ち彼は政治家としてのみならず、詩に於ても第一流也。

○朝鮮の官吏が、官妓と相狎れたる逸事、卷中に續出す。官妓が朝鮮官吏の生活に及したる勢力、亦大なる哉。

○過日偶然、書棚の一隅より『曹溪圓鑑國師語錄』を見出せり。其の內容は、語錄にあらずして、詩集也。

○此書は本來、元の大德元年、門人眞間の刊行したるものにして、更に明の正統十二年、朝鮮羅州牧の再刊したるものを原本として、我が延寶八年、京都に於て、復刻したるもの也。

○在京城の無佛居士に訊問したれども、大德の初刊は愚ろか、正統の再刊本さへも、未だ見當らずと云へり。是も亦た朝鮮本の、我が德川氏時代に、復刻せられたる一にして、『東人詩話』と與に、或は彼に再輸出する時あらんを期せず。勿論『東人詩話』は、活版として、朝鮮古書刊行會より、出で來りたりと記憶すれども、そは實用一遍にして、好書家を滿足せしめず。

○圓鑑禪師は、宋末元初の高僧也。彼は晦堂和尙の高足にして、無碍の辯才あり。其の歌頌も亦た、高雅簡潔の臭味を超越し、詩人の詩以外に、一種の滋味あるもの、尠しとせず。

○其の得意の作は、寧ろ長篇にあるが如し。然も今ま僅に其の七絕を揭ぐるのみ。『雨飄花藥堆紅鮮。風濟茶烟鎖碧蘿。手有筇枝。肩有衲。山家活計。尙嫌多。』然も今日とても、朝鮮の僧侶は、斯迄に貧乏ならず。

○彼は遂ひに金剛山に遊ぶの機會を得ざりしが如し。卷中に友人と同遊を約し、一夕脚跌して足を傷め、遂ひに往くを果さず。自から慰さ題する長篇あり。其の末句に曰く『誰知不出雞足峰。已證楓嶽善知識。』と。予も宛ら昨年の十月中旬に、金剛山に遊べり。されど遂ひに一個の善知識にも、遭逢せざりしを、遺憾としたりき。

鮮銀の新總裁　美濃部氏の事

東拓理事　村田俊彥氏談

東拓に於て石塚前長官の如き良總裁を得たるに、更に朝鮮銀行に於ても美濃部俊吉氏の如き良總裁を得らるゝは朝鮮の經濟界のため欣賀措く能はざるところなり。

美濃部總裁は明治廿六年大學卒業後暫らく農商務省に於て樞要の地位に居られ、經濟事情視察のため歐米に出張せられたることあり。其後大藏省に於ても銀行課長、特別銀行の監理官、大臣秘書官等の重職を擧り、什根爵夫氏が北海道拓殖銀行の頭取を辭せらるゝや、推されて後任となられ、茲に十幾年、銀行の業務に從事せられたり。其經歷より見ても朝鮮銀行の良總裁と謂はざるを得ず。由來北海道拓殖銀行、橫濱正金銀行の如きものは、其副長を頭取と稱するも、實際に於ては他の銀行の總裁と全く異ることなし、殊に北海道拓殖銀行は其位置北陬に在り、其の主たる資金吸收の方法たる債券に割增付の特典なきに拘らず、種々苦心して同行今日の盛況を致し北は樺太南は東京にまで其業務を發展せしめられ得たるは、全く氏の力によるものと謂はざるべからず。其業務を行ふに方りても、廣く智識を世界に求め、銀行制度調査の爲め社員を歐洲に派遣せられたることあり其の報告の一部は上梓せられたるが之により吾人の得る所のもの尠からざりき。且つ氏は身常に東京及び北海道にありて、內地の金融に精通せらるゝのみならず、露國を始め東洋關係の諸國の經濟狀態にも注目を怠られざりしと聞く。人に對し和氣藹々、親切溫厚にして城府を設けず然かも犯すべからざるものあり、官廳に在りても、銀行に在りても、皆氏を敬し且つ慕ひ、喜んで氏の下に働かむことを希へり。上長及び同僚よりは頗る信じ且つ重ぜられ、氏が今日の如くならざる以前に於ても、夙に故曾禰子爵、故松尾臣善男の如きは、氏の人物を認め、大に信任囑目せられ居りたりといふ。

黄海道の鑛山（四）

鶴唳生

樂山鍍山（續）

△本年の鑛產價額　斯うなると山の活況は益々旺盛を告げ鑛主の鼻息は愈々猛烈となつて忽ち第二期計畫の遂行に著手した、开して又た復た尠からぬ費用を投じて之が完成を見たのは本年八月の事であるが一面產金額は五年に入つても增加の一方で一月以降九月末までの累計は旣に昨四年中の全產金額と伯仲の間に在り、加之九月以降は第二期の諸設備が悉く活躍する譯であるから產金の增加は更に顯著なるものがあるであらう。一寸斷はつて置くが昨日の本欄中產金增加の趨勢を書いた時、誤つて大正二年を三年に、三年を四年に、四年を五年にした、茲に訂正して置く

△經營者の大苦心　元來金山を正式に經營しようとするには相當の資本を投じなくてはならぬ。實に鑛といふ事は含金品位の劣等な鑛石なら仕方も無いが一通りの設備で收金さるゝ鑛石に取つては極めて不經濟の事である。さらばといつて餘り遊まり過ぎると初め酸化だつた鑛石が硫化に變じたりなぞして折角出來上つた濕式の精錬設備は早やものゝ役に立たず、今度は更に乾式設備を整へなければならなくなることがある。朝鮮の金山は何處でも始めは酸化だが途中硫化に變ずることが多く現に此の悲境に沈淪してゐる山も鮮からぬ樣である、金山が金を喰ふといふのは此處等のことで、經營者の苦心を要する所以である。

△五里洞の精錬所　此山などは不思議にも酸化が續いてゐる樣だが將來何時かは硫化に變るに違ひない鑛主も之れを豫期して全鑛區に亙る根本的の探鑛と乾式精錬の設備とを以て第三期計畫を樹てゝゐるさうである。乾式精錬所は前に云つた溫泉鑛區の許可を得た後、其の區內に適當な地を選むで建設する考へださうだが、之れは將來の事であるから省くとして現在の精錬方法は總て混汞法に靑化法を併用し且つ泥鑛處理の爲め電氣收金の設備をやつてゐる五里洞の第一精錬所では十八馬力の瓦斯發動機を使つて碎岩機と四百五十封度拾挺立の搗鑛機とを動かし、淘汰盤から流れ出た砂鑛は之を五個の滲出槽に引いて靑化精錬を施し、又た泥鑛は四個の槽內に受けて電氣收金をやつてゐる。

△劉村の大精錬所　其れから今度竣成した劉村の第二精錬所は二十馬力と三十馬力の收入瓦斯發動機を以て二臺の碎岩機と四百五十封度の十挺立搗鑛器二臺とを動かせ一晝夜に一萬二千貫といふ鑛石を處理してゐる、开して淘汰盤から流逸する砂鑛は徑十八尺深さ四尺の角形コンクリート製滲出槽六個を基準とする靑化設備で收金し、泥鑛處理の設備は未だ出來上らぬが第一精錬所と同樣電氣收金法を採る筈である。此の他尙ほ鑛業の根源たる試金場も第二精錬所の竣成と同時に第一精錬所から此處に移轉し、金銀銅其の他各鑛物に對する分析設備が整へられてある

朝鮮の古城郭（三）

八木奘三郎

（四）歷代城郭ノ變遷（承前）

（乙）三國時代の城郭（四）—以上記し終りて後、三國遺事の記載を思ひ出せしにより、次に其文を擧げて參照に供せり。

同書卷の一、新羅始祖の條に曰く。

名赫居世王、位號曰居瑟邯、時人爭賀曰、今天子已降、宜覓有德女君配之。是日沙梁里閼英井邊。有雞龍現、而左脇誕生童女、姿容殊麗、然而唇似雞嘴、將浴於月城北川、其嘴撥落因名其川曰撥川。營宮室於南山西麓、（註今昌林寺）

玆に『營宮室於南山西麓』とあるは三國史記に所謂二十六年宮室を金城に營むとあるものと同一にて、其位置が今の卽ち高麗時代の昌林寺趾に當るとのことなれども、此寺趾は現今判然せるや否や不明なれば姑く措き其南山西麓に營むとの方位記事は大に注目せざる可からず、予が前に云へる地點は半月城の南を東より西へ流るゝ水流の北に當れば遺事の西麓より北に當れども、此點は勅撰の書たる史記に重きを措きて、別に一說を爲さずして、而も大體に於ては遺事も其方位を過らざりし爲め、之を西方と記せし所なる可し。又雞林と云ふと記し又一說として鷄井に生るゝ故に雞林國と云ふと記し又一說として脫解王の時、金閼智を得、而して鷄林中に鳴く、乃ち國號を改めて雞林と爲すと二說を擧げ、殊に後者を一說と爲せば史記の金氏の西と云へる方位の如きは採るに足らざるを知る可し、次に慶州內の狀況に就ては同書辰韓の條に。

新羅全盛之時、京中十七萬八千九百三十六戶一千三百六十坊五十五里、三十五金入宅（註○言富潤大宅也）下略。

とあり。今其戶數を五人平均とすれば八十九萬四千六百八十人にして約九十萬と見るを得可し、去れば現在の京城龍山を一にせるよりも遙に多數の人口を有せしを知る可く、又同書卷の二、處容郎の條には

第四十九憲康大王之代、自京師至於海內、比屋連墻、無一草屋、笙歌不絕道路。

と記せり。此文多少の潤飾ありて全部信用することは能はざる可しと雖も其盛觀、富裕の狀は略ば推想するに足れり。

已に新羅時代の殷賑斯の如くなりしを以て城中の宮殿も壯麗なりしなる可く、又人家人口も多く、寺院の多きは實に人目を眩せしならん。

日報詩壇

○題淵明歸去來圖集陶句得　安永春雨

投冠旋舊墟。[illegible]與世辭。義皇去我久。何爲復狐疑。園林無俗情。秋菊有佳色。悠然見南山。濁酒且自酌。閑居非陳厄。[illegible]

評曰　偶然涉筆無不入妙

○讀淵明集　成田魯石

[illegible]

評曰　雅淡眞、淸陶公遺矩

廿八日　夕刊と合せて八頁

發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直　印刷人　小川三之介
電話（編輯）二三四五番　（營業）二二六番
振替貯金口座京城三〇〇番
定價　一部金五錢　一ヶ月金八十錢
廣告料　五號活字一行金一圓

京日案內

△古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　446

普通　三十錢　番外　一圓前金　613

○看護婦募集　外勤多忙に付經驗ある者履歷書携帶午前中本人來談　南山町三電話一八一一　十字屋看護婦會　427

▼古本と古樂器買受は絕大の信用有　本町二丁目電話二五二七ボツヤ書店　610

記者及外交員採用　希望者履歷書携帶來談あれ　月收五十圓以上確實　花園町一二二　中央金物新報支社　607

○貸家　四十圓　土地高燥日當良く諸設備完全の平家建最上等貸家二棟　櫻井町三丁目坂の上　608

○現在經濟中ノ事業擴張の必要ある者を望む　609

○大病院の看護婦入用　602

○吉井御製　437

○八番及び四番外　電話二千三百六十九番　599

毛皮なめし並仕立　鳥獸剝製調進販賣　京城本町二丁目　612

鑛山經營　重石買入　金石商會　京城　鑛物分拆並に鑛山測量製圖　604

路支語敎授　十一月十五日開始　每日自午後六時至同十時　611

貸家　京城永樂町二丁目七番　日本建平家瓦葺間取八疊四ッ六疊三ッ四疊半六ッ三疊二ッ　官吏向又ハ紳士住宅向　京城本町二丁目　590

蕎麥店讓　目抜の場所老舖にして繁昌す希望の人は至急申込あれ　京城旭町三丁目　電話一三〇八

南大門通一丁目　廣橋自働車　每日午前八時出發　電話二一九番　428

恩給年金低利　長期卽金立替　京城永樂町一　地方同業店取扱債權特別低利讓受　江州屋本店　488

銃砲火藥獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戶銃砲店　492

產婆　マッサージ　京城南山町三丁目一八　三浦小糸　電話一四四〇番　543

易　觀相　毎日午前九時より十一時迄人を限り依頼に應ず　『見料隨意』　永樂町一ノ九　均陵庵　549

古着古道具類　不用品一切　右誠實に買受申候也　京城旭町一丁目　タズタニ商店（電話一八一二）　569

法學博士 松波仁一郎先生著

改正　日本商法　第六版　本書ハ商法ニ精通セラルル松波博士ノ名著ニシテ一冊ニ商法全編ヲ網羅ス說明懇切、理義透徹而シテ行文ノ流麗ナルハ世既ニ定評アリ今第六版ヲ發行ス　千二百二十六頁　四圓八十錢

改正　日本手形法　最新版　松波博士ノ手形法ハ我國ニ於ケル最新最大且ツ最良ノ手形法ナリ公平ナル局外ノ學者ノ著述トシテ出版以來切ニ裁判ノ參考ト爲リ又辯護士實業家等ノ日々信頼スル所ナリ久シク缺本中ノ所製本出來ス　千四百五十七頁　價四圓三十錢　送料十六錢

松波博士　改正　日本會社法　千九百十八頁　五圓八十錢　送料二十錢

松波博士　改正　日本商行爲法　千五百二十六頁　四圓三十錢　送料十六錢

東京神田一ツ橋通　有斐閣

川合春充先生著

賜天覽台覽　各宮殿下の御目前にて實演の光榮を添ふ

忽ち十版　強い身体を造る法　定價金一圓七十錢　小包料金十二錢　紙數七百頁四六判美麗本　活動寫眞ヒイルム應用說明

第四十版　心身強健術　附 接子運動法　定價金一圓二十錢　小包料金八錢

五分間の運動にて強健となる世界的大發明！

醫界、敎育界、宗敎界、陸海軍人社會、並に政治界實業界等第一流名士より激賞讃嘆せられ各學校各聯隊軍艦等へ採用實施せられて其偉大なる効果を賞揚せられつゝある吾が川合式の強健術は何等の費用も機械も場所も要せず、日々僅かに五分間の運動にて驚くべき効力を現し、著者は幼時茅棒と綽名せられ、虛弱の人は強健となり、精力旺盛、頭腦明晰となる、著者は幼時茅棒と綽名せられし人が一躍、数回死の宣告を受けたりしが、この強健術を案出實行するに至りて強健無比となり、理想的肉體美の所有者として嘆賞の的となる、病弱の人よ！人一倍の活動せられんとする人よ、この強健の秘法を見よ。

東京市日本橋區馬喰町二丁目　振替東京一八四四四番　興文社

主宰 井口工學博士

帝國工業精習錄

機械科　新學期開始　規則見本無料進呈

東京市神田區松永町　帝國工業學院　電話下谷五三五二七　振替口座一二七二〇

山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通振替三〇〇番　京城日報社代理部

拂下廣告
一、假木造平家建四棟及棧橋壹基
右詳細ハ十月廿八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十月廿八日　朝鮮總督府

簿記生徒募集
卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す規則書三錢を要す
京城明治町二丁目　京城簿記專修學館

フースヒー
十一月一日發行　定價五十錢　郵稅二錢
社說　武斷內閣擊つ可し
國民精神の傾頹を奈何
○國家財政　責任者としての勝田主計
滿鮮の半面
當面の人物　フースヒー
現代閨門觀
東京下谷　フースヒー社　振替二四五八四

小熊を射止む　平北江界郡三部面龍門洞山中に本月三日頃一頭……逃げ去りたるが同郡當局にても……て小熊一頭を捕獲したりと

副總統選擧と段畫策

參衆兩院協議會の結果副總統選擧を速に執行することに決し此の旨政府に通告せり尤も段總理は餘り選擧を急ぐを好まず心中私に畫策中なるを以て該問題は實際に至りて如何に變ずるや測り知るべからず（北京特電）

孫洪伊罷免誓言

黎總統孫氏を海外に赴かしめん

二十五日午後國務院秘書長は段總理の意を啣みて黎總統に謁見し孫內務總長に處決を迫り若し容れられざるに於ては段氏總理を辭職すべしと再び述ぶるところありたるに黎總統は右に對し二十六日より三日間內に誓つて孫內務總長に辭表を提出せしめ彼に旅費を與へて海外に赴かしむべし此の旨段總理に傳へよと答へたり（北京特電）

附記　昨夕刊北京電報には孫內務總長罷免されたりとあり然るに今亦此の電報に接す姑く記して後報を俟つ

省長督軍兼任運動

廣東來電に依れば陸督軍は省長を兼ねんことを希望し又省長朱慶瀾は督軍兼任を熱望し共は中央政府に運動中なり（北京特電）

ヒューズ氏形勢不良

ウイルソン氏徐々地歩を確定す

紐育來電－ウオール街に於ける大統領候補に關する賭はヒューズ氏對ウイルソン氏は今の處十對九の割合なり斯くの如くヒューズ氏の率の漸次減退しつゝあるは之れ民主黨が活動の度を增したるが爲なり新聞紙の所報に依れば各選擧場に於てウイルソン氏は形勢未定なるが各州にて徐々に其の地歩を確定し來れる模樣なり（倫敦電報）

羅軍敵前進阻止

露都來電－公報に曰く羅馬尼軍はトランシルヴァニアの全線に於て優勢なる獨墺軍の前進を阻止したり又ドブルヂアに於けるマツケンゼン元帥麾下の獨墺軍の壓迫も幾分微弱となれり（紐育電報）

三線聯絡運賃率

安奉線、連奉線に比し著しく低廉

三線聯絡運賃問題に對する根本的解決の項目は既報の如くなるが今回新に決定を見たる安奉線の新特定運賃は連奉線運賃に比し甚だしく低廉にして從來鐵道院側にて主張しつゝありし距離比例運賃と毫も其の實質を異にせず即ち距離制の主眼とする所は安奉線の延長が連奉線の延長に比し其の距離約三分の一短きを以て距離に比例して兩線運賃を算定し以て安奉線の運賃を連奉線の其れに比し約三分の一低廉ならしめんとするにあり然るに今回決定せる新特定運賃を安奉線に實施の上は既電細布以下十品の貨物は連奉線を通過する時は依然現行の海港發著運賃制に基き運賃を徵收さるゝに拘らず安奉線を經由する場合には海港發著運賃率より約三割低減して算定さるゝ次第なるを以て距離比例を實施すると其の結果は殆んど同樣なり而して新特定運賃が現行の內地直通の細布外十品に對するには該特定運賃と相違する點は後者が安奉、連奉兩線に適用さるゝに拘らず前者は啻に安奉線にのみ無期限に適用さるゝ點にあり兎に角鐵道院側が距離比例說を滿鐵の原則運賃とすべしとの從來の牽固なる主張を撤回せるは大讓歩にて之にて表面上滿鐵側の面目は立ちたる譯なるも其の實質以上の如くなれば今回の決定に對し大連市民が滿足するや否や疑問なり（東京特電）

御製編纂會議

二十七日午前宮內省に於て明治天皇御製編纂部第一回會議を開けり（東京電報）

定例閣議開會

二十七日は閣議定例日に付寺內首相以下各大臣は午前十時より登閣々議を開き正午散會せり當日附議せられたる事項を聞くに樺太に關する勅令一件朝鮮總督府官吏の更迭に關する人事數件及び還元問題に關し閣員間に大正六年度のみを五千萬圓還元となすか大正七年度以降も尙之を續行するかに付意見の交換をなしたるも決定するに至らざりしもの〻如し（東京特電）

督府高官異動豫想

今回總督府高官要路に左の如く異動あるべしと傳へらる（東京特電）

農商工部長官　小原新三
忠淸南道長官　上林敬次郎
中樞院書記官長兼外事課長　秋山雅之介
平安北道長官　藤川利三郎
東洋拓殖株式會社理事　川上常郎

內地財界近狀

漢城銀行專務　韓相龍氏談

內地金融界は依然緩漫の域を脫せず最近多物資金の需要あり多少の活氣を呈したれど何分貿易は一月以降の出超累計二億三千萬圓の巨額を算し國際貸借上未曾有の有利の地位に立居れる爲日本銀行紙幣發行高の如き

▲四億圓臺を

下らざる現狀にあり聞くが如くんば帝國より米國に貸船せる汽船は約六十萬噸に上り一噸月十二圓乃至十三圓の貸船料を徵し居るに付き夫れのみにて一箇月約七百萬圓を下らず年初以來の累計は一億萬圓に垂んとするあるに本年米國輸出生絲は非常に好況を呈し價格に於て昨年の倍額乃ち一億九千萬圓を算するの盛況にて米國は帝國に對し債務國となりし結果其の決濟は多量の金塊を本邦に輸入し來り之れを行なひつゝあるが運賃並に保險料を多額に要するに拘はらず日本にて銀行より金融を受くるより利益なりとの事なりき金融緩漫の結果市中

▲金利は低落

の傾向を免れず目下の所一流手形一錢一厘普通一錢四五厘コール四五厘月越一錢一厘の位と聞けり、又諸株式暴騰の結果二流三流銀行は其の所有に係る有價證券を放賣し其の資金を以て內部の整理をなしたる向もある由なり金融界如斯狀勢に付二十七日より賣出せる內債二千萬圓の如き其の應募意外に多かるべしとの豫想あり而して來月に入り發行の模樣ある東京市債千五百萬圓の如き條件未だ公表されざるも年六分の利廻りに相當するらしきに付之れ亦有利の投資物件としてて一般より目され居るが如し銀行

▲預金の增加

も近時愈々著しきものあり一例を擧ぐれば第一銀行預金總額の如き前年の昨今は一億一千萬圓なりしも本年は一億四千萬圓に上れりと云ふに見るも其趨勢を卜知し得ん、米作は東北北陸地方作況佳ならざる如きも關東關西地方より九州は普通と云へば先づ平年作と見るを相當とすべく米價も去年より約一割方の上値にて昨今石十三四圓所なりと云々

內鮮農產品及其加工品の出入狀況（三）

朝鮮農業開發の根本研究

▲家蠶繭

蠶業の發達著しく生產額激增すると共に內地に於ける製絲原料として其の移出額は年々累加し明治四十四年に於ては僅に六千餘圓なりしもの大正四年に在りては八十萬圓に垂むとせり而かも今や蠶業獎勵の基礎確立し養蠶の有利なること一般農家に周知せられたるを以て今後の發達は一層著しきものあるを期待し得ると同時に朝鮮繭の眞價製絲業者に熟知せらるゝに至りたれば年と共に移出額は異常の增加を見るに至る可し

▲生牛

生牛の露領輸出は明治四十三四年頃最も旺盛を極め一萬六七千頭六七十萬圓に上りしが近來輸入檢疫の手續頗る煩雜を加ふるに至り二千頭を越ゆるざる狀況なり然れども內地移出は漸增し又た滿洲方面への輸出も其の端を發し大正三年に於て其の輸移出は一萬五千頭四十六萬圓、大正四年に於て一萬四千頭三十三萬圓に上れり向後畜牛の增殖に伴ひ其の輸移出は漸次累進す可し

▲牛皮

は朝鮮皮革會社に於て製革材料に供するもの凡そ百萬斤を除く外殆んど輸移出の用に供せらる輸移出額は年々三百萬斤臺にして其の價額百萬圓以上百五十萬圓位なりしが歐洲戰亂以來落國軍需品の內地に註文せらるゝもの多く其需要頓に增加し價格亦騰貴したるに依り大正四年には輸移出額八百萬斤三百五十萬圓に達せり然れども大正四年は牛皮價格の騰貴に激せられ朝鮮の畜牛狀

況に照し其の屠殺多きに過ぎたる事實あり前年の輸移出は異例に屬するも畜牛の增殖に伴ひ牛皮の輸移出漸次增加す可きは勿論なりとす輸移出先は年々支那に對し二十萬圓內外を數ふる外全部製革原料として內地に移出せらる

▲製造煙草

輸移出は全部紙卷煙草にして又た其殆ど全部を支那に輸出す大正二年迄は毎年二萬圓なりしが山東省方面に販路著しく開拓せられ大正三年二十七萬圓大正四年二十二萬圓に增加せり支那產品との競爭あるも努力宜しきを得ば年々輸出の累進を見ること難からざる可し

▲皮革及其製品

輸出額は明治四十四年大正元年には各二萬圓なりしが大正三年には各二十萬圓に上り大正四年には一躍二百二十萬圓に達せり本品は殆ど朝鮮皮革會社の製造に係り大正四年の激增は露國軍需品の輸出に職由す大正三年以前に在りては其の輸移出額の九割は支那に輸出せられたるものなり大正四年の需要を以て平時を卜す可からざるも皮革會社の事業擴張せられ生產能力著しく增加せるを以て今後に於ても本品の輸移出は必ず相當の多額に上るなる可し

▲莞草製品

之を原料とし米國向椅子張材料、花莚等の製造を開始せるものあり大正四年下半期に於て三千餘圓五年上半期に於て約二萬圓を輸出せり前途好望の一商品たるを失はず

長安坪と米作

東拓長安坪開墾地の稻作は目下收穫の最中なるが本年は數回の出水あり

しに拘はらず開墾地は水害を受けず作柄良好にして小作人等は些の肥料を施さゞるに一反當り收穫籾量特に良好なる所は一反四石二斗に達する所あり平均すれば先づ左の如き狀況なり

	上作	中作	下作
改良種（早神力）	三石六〇	二石四〇	一石二〇
在來種	三石〇〇	一石八〇	一石〇〇

現在の小作人等は水害を慮りて肥料を施さず除草其他の手入れを怠りたる儀放置せるも右の如き成績を擧げたり然るに同開墾地は東拓にて本年用水の加減に注意せず殆んど植附け堤防の修理をなし多大の工費を以て理想的に堅牢ならしめしを以て今後

長安坪に於ける改良米種と在來種の優劣

水害を受くるの患ひなかるべく從つて耕作者は安心して之れに從事し得べし而して若し適宜に肥料を施し手入れ及び排水に注意し且つ改良種を栽培せば一反歩當り籾三石以上を收穫し得るは確實なり尙ほ特記すべきは本年降雨多く陰濕の氣候なりし爲め肥沃地は稻熱病の發生甚しく在來種は著しく其の害を蒙りたるも改良種には毫も其害なく熟色鮮麗穗揃ひ齊一にして著しく好成績を示せり（寫眞參照）目下改良種の普及は約三分の一なれど明年は全部改良種を植附けしむる豫定なりと

平壤前月中金塊

朝鮮銀行平壤支店の調査に依れば前月中の金塊收入高は六十五貫六百五十匁にして價格は二十四萬六千九百四十三圓なりと而して本年一月以來の收入總高を擧ぐれば五百三十八貫四百九十四匁價格二百一萬四百九十八圓なりと（平壤）

天長節祝日

參賀

天長節祝日奉祝の儀に就ては京城府に於て拜賀式を行ひたる後八時半より十時迄の間に於て御眞影を開扉し置き一般府民の參加を許す由なれば不敬に亙らざる樣相當禮服著用の上成るべく多數の參賀を希望する由

▲警務總監部

來る三十一日は天長節祝日なるを以て總監部及び憲兵隊司令部にては同日午前八時高等官以下判任官待遇以上全部參賀し終りて御眞影拜賀式を行ふ

▲在鄕軍人會

來る三十一日天長節祝日には京城在鄕軍人分會員は午前八時三十分迄に龍山陸軍練兵場在鄕軍人分會旗の下に集合し遙拜式を行ひ了つて在龍各部隊の閱兵式及び分列式を陪觀する由尙來月三日立太子式當日の分會奉祝順序は其の散會前協議決定すと

硏究會創立記念會

永樂町二丁目の同會にては來る十月三十日創立滿五周年に相當するを以て同日午後四時三十分より創立記念會を擧行し小松中樞院書記官長の時局に關する講話ある由

服部京城局長出張

服部京城郵便局長は二十八日より二日間全北井邑に於て開催さるべき湖南沿線郵便所長會議列席の爲め廿七日南大門發列車にて出張せり

岡專務引籠

岡日韓瓦斯事務は目下病氣の爲め大和町の自邸に引籠り居れり

山邑支店長

明治町山邑支店長關野熊一郎氏は今回東京本店に榮轉し廿八日夜南大門出發の筈

人事消息

▲曾祢喜一郎氏（實業家）　二十七日夜入京天滿樓へ
▲田中泰三氏（實業家）　同上
▲宮崎洸馬氏（鑛業家）　同上
▲修理脇啓氏（久原社員）　入京中の處二十七日夜退京
▲吉村慶北第二部長　同上
▲山下知七氏（木管會社員）　同上

南言北語

ロイド、ジョーヂ氏が聯合軍は羅國を保護せざるべからずと下院で聲明して居る▲今更此の言を新しく聞くのは寂しい樣な悲しい樣な氣がせぬのでもない▲羅國蹶起の際既に聯合軍は羅國を保護すべき責任と云へば御山かも知れぬが覺悟はなかつたのではなからうか▲既に其の蹶起の時から羅軍には必勝の算盤が取りにくかつたではないか▲ドブルジヤに侵入した獨勃軍は連捷の勢でコンスタンツア迄も早や占領した▲コンスタンツアは羅國の首都ブカレストの東百卅哩にあつてルナ、君府、トレビゾンドを聯絡した商業上からも頗る要衝である▲だから此の地の陷落は羅國に取つては一大打擊に相違ない▲共代り獨勃軍は頗る有利の位置を得た譯だ▲タイムス軍事記者なぞは此敗戰が羅國に取り致命的打擊であると斷定して居る▲而し之れやあまだ早計だけれども兎に角羅國は危急の機が近づきかけて來た▲一體此方面の露羅軍は兵數が不足して居るから疾風枯葉を捲くが如きマツケンゼン軍の相手には到底ならぬ▲此の時此の際聯合軍たる者は一大活動を起さねばなるまい▲サロニカに冬籠りなんか餘り氣が永い▲之だから獨逸が食料に缺乏しても弱音を吹かぬ譯だ▲獨逸では此頃戰爭が常事になつて戰爭が濟だら何を仕やうと考へて居るものもある相な▲橫著な事も橫著なが豪い事も豪い▲瘦我慢も之れ丈け強ければ石でも食へるのだらう

英語速達法の大發明

▼特許器の應用＝通信教授

これは英語暗記器の特許書であります

◎これ迄イロ〳〵の獨習書を讀んだり、英語學會に入つたりしても思ふやうに英語がウマくなれない人は、是非一度自然的教授「英語速達法」を學べ、大發明中の大發明たる英語暗記器を應用せる君が速達法は全くの初學者でも僅に六ケ月で、日常の會話、讀書、作文等は勿論、外國人と自由自在に話すことが出來る樣に上達すると確實なる實驗に依つて保證する此珍しき方法の見本及校則は東京本鄕區大學正門前英語通信學校（電下三〇一一番）へハガキで申込み次第無代進呈する尙新案特許英語暗記器（回轉式裝置金具製）無代進呈

漢文譚

全一冊菊判二百四十頁　定價金六十五錢　郵稅八錢
侍講思軒杉浦重剛先生閱　用光題辭　山岸生著
凡そ書を讀むには辭の條理を詳にせざれば其意義を貫徹する事能はず殊に漢文は文字其ものに意味を含有し一文字を以て義理の深淺主客を表はし文字の配置により意味を左右するものなり山岸先生漢文學教授に從事する事二十餘年其間文章の組織文理文字の用法等を硏究し本書に其要約を詳に例を引きて博く應用に資す故に本書は漢文の講究に資益あるは勿論苟も讀書作文に志ある士は一本を座右に備へて常に參考とせば事に當りて甚大の稗益あらむ
發行所　至文館　東京神田裏神保町二番地

圖碁原理

小川文雄先生著
（菊版總クロース金文字入美本）
本文二百頁　附圖二三八圖
定價金壹圓五拾錢
郵稅金八錢
內容見本要郵券貳錢
先人未發の原理を闡明せんとするものは本書也、既刊第一第二卷は專ら碁の公法を說き、本卷は更に進んで碁の帰道を說きたるものにして從來類本に在りては學び易き順序を缺き學び難かりしを本書にては在來の敎科書と其選を異にせる新著也乞愛讀
發行所　東京市日本橋區上槇町十三　大東京社

第新
武學
回刊

新聞講義錄

社會長　大木伯　貴族院議員△一木內相△尾崎法相△島田議長△芳賀博士△講師△餘田文相△箕浦遞相△鎌田塾長□外數氏

日本に始めて出來た新聞學の講義錄也記者には僅か半歲（速成科）か一年（正科）で誰れでも成れる手取早い立身出世を望む者は來れ此際入會者は其希望に依り入會と同時に東京新聞記者に囑託す本月は入會の絶好機二大特典提供中是機勿逸
內容見本つき會則薬書にて申込次第進呈
東京牛込矢來町十一番地　大日本新聞學會　電話番町六三三番

家庭雜誌

十一月號

家庭教育に大切な宗教

（一）兒童に必要なる宗教々育……澤柳政太郎
（二）家庭の躾方と神佛の感化……高島平三郎
（三）信仰なき家庭は精神なし……石川千代松
（四）秩序ある家庭は宗教が源……松田道雄

▣穿き違への簡易生活……平塚らいてう

△知らぬ過失から……竹貫佳水
△子供の名を付ける親の心得……佐々木吉三郎

▣婦人と專門の知識……不識記者

△時候の變り目と子供の養生……宮之原
△童話『金の佛』……高木敏雄

▣日本人は食物に贅沢……井上農學士

連載好評
▣新作小說　花嫁時代（第五回）……高濱虛子
▣家庭小說　夕潮（第二回）……長田幹彥
▣探偵小說　お秋の方（第五回）……平井晩村

▣新時代と新族の交際……後閑菊野
▣初冬の化粧……北原十三男
▣梅干で病氣を癒した實驗……吉村もん子
△繼母となつた醫師の妻……小島〇子
△衣服の著こなし方……小口みち子
△社會百生活……（各階級の家政の研究）
▣女中の居著かぬ家庭……東郷昌武

▣當世良妻物語（美術家の妻の苦心）

（一）良人の職業に敬意を拂へ……木島櫻谷夫人
（二）良人の趣味を理解せよ……鏑木清方夫人

▣大名華族の暮し向（山內豐景侯の生活）

定價十五錢　郵稅一錢　東京本町　博文館

……當分實現不可能

總統府側の消息に依れば青木中將……懸問題は日本內閣更迭の結果當分到底實行することなかるべしと（北京特電）

……極め終に失敗に終れり（東京電報）

清津

▲間島貿易激增　前二年に亘りての水害に運搬を極めたる間島貿易も本年の……貿易も幾らか恢復するに至りしが九月中の通過貿易は冬季用品仕入の時期にも際せし事とて間島七萬六千三百……四萬千四百四十八圓計十三……

……の臨元豆　咸北及び間島地方臨元豆は從來殆んど出廻皆無なりしも歐洲戰亂の影響に依り外國輸出品として……漸次增加し其內地取引漸次好況を呈し……地方貿易商は內地取引の好況に促され漸次之が買出しに奔走するに至りしが九月中の淸津輸出額は六十二石……一千……七圓に過ぎざるも本月は……

……防波堤工事は其後著々進捗し既に本月二十日迄の出來步合コンクリート作業四分七厘捨石作業八分に達せり而してコンクリート作業は十一月下旬……

清州

▲演習終了兵宿泊　第四十旅團秋季機動演習に參加したる忠州守備步兵第七十九聯隊第三大隊一宮少佐以下將卒約四……

……二十二日競爭入札に附したるが豫算超過のため請負契約を見るに到らず結局發起者側にて直接工事をなすことなり近く其工事に着手し遲くも十……

紅葉は今を見頃

秋よ、紅葉よ、行樂の日よ

土曜から日曜へ掛て今を盛の紅葉の名所

北漢山‖石坡亭‖洗劍亭‖紅葉谷‖漢陽公園‖木覓山‖老人亭‖奬忠壇‖光熙門‖往十里‖紅樹洞‖清涼里‖牛耳洞‖議政府‖南漢山‖洗浦‖三防の峽‖釋王寺‖開城

京城の周圍も近郊の山も昨今紅葉の天下となつて來た、むかしから『北漢山の紅葉、南漢山の躑躅』と稱せられてあの岩山の紅葉は古來朝鮮の人の呼物となつて居るがまた北門外石坡亭の楓葉も以前から

▼評判もの である『楓見よなら石坡亭、落葉に酒をあたゝめて秋の夜すがら飲みつくせ……』は共進會の新曲『御代の春』に唄はれたところ先づ此の兩者は京城附近の大關であらう北漢山はあの崢々たる岩壁の間に紅に燃ゆる櫸樹、蔦紅葉のながめが得も言はれず、此の頃一瓢を携へつて遠く寒山に上つて石經斜なるところ二月の

▼花よりも 紅なり……と風流がるも一興であらう、石坡亭は北門を越ゐてだらく坂を降りた間近の所にあり、今は李埈公殿下の邸となつて容易に門內に入られぬけれども外から見るも惡くはない、總じて此のあたりから洗劍亭附近は柿、栗、梨などの紅葉から雜木林の紅いのも見ゐて平坦な道を西にとり弘濟院あたりから獨立門に出て歸るも面白からう、其の他京城の紅葉の

▼名所には 南米倉町を上つて紅葉谷に紅葉亭あり、漢陽公園から木覓山に登れば城壁の蔦紅葉を始め躑躅岩角の紅葉も恰度繪の如き趣きを見せて居る、其の他大和町老人亭の谷は老松の間に點綴した紅葉箱に染みて奬忠壇あたりも秋正に闌となつて來た、猶ほまた光熙門外から電車で往十里に出づれば驛の右手に

▼安靜寺と いふがあつて紅葉の谷には僧無學の坐禪した跡を探るも面白からう、次いで工業傳習所裏の京城植物園やらまたは清涼里から牛耳洞街道あたりの雜木林の秋光もよくまた東小門外から城北洞にかけては昨今秋の景色に滿ち、充ちて居る、更に東大門外から途を左手にとれば紅樹洞の名所ありまた京城北部では女子高等普通學校の

▼谷を奥に 名所があり其の西側三清洞の溪も有名である、南大門外では孝昌園一帶の丘がよく漢江を渡れば南漢山の紅葉もよい、汽車で出掛ける人には京元線の一帶がよく、議政府から半里ばかり引返して北漢山の峰つゞきに道峰の紅葉を探るもよく更に洗浦の高原から三防の峽を通れば滿山の紅葉車窓の人を染むるかとばかり釋王寺附近も殊に美しい、また京義線では開城の楓葉が名で

▲朴淵の瀧 あたりに古都の秋色を探るも興あり、京釜線では大田驛から五里ばかり公州鷄龍山の楓葉が美しい

十年振り

露西亞から歸つた鮮人の成功者　金髮の妻を携へて

追々結氷期に向ふより北鮮地方露領出稼鮮人の歸來者使船毎に增加しつゝあるが是等の歸來者の中には小說以上の面白い物語りを有するものがある之も其一つであるが咸北道は明川郡下加面三郷里屯地洞尹啓嗣(五七)は今より約十年前勞働者として浦鹽に渡航し浦鹽より約百露里を距るスツレシチエンスクに於て勞働に從事し貯金も出來たれば煙草小賣を營み居る中同地居住の露國人マヤ(二二)と稱する女と相思の間柄となり遂にマヤが兩親の承諾を得て結婚し三人の小供を儲けたるが尹啓嗣は兎角異境にて成功し露國人を娶るまでに至りしも流石故郷の忘れ難く妻なるマヤ三人の子供を伴ひ九月下旬浦鹽より歸航の朝鮮船に乘込み本月三日故鄕なる下加面沿岸に上陸し十歲振りにて故鄕の土を踏みたるが朝鮮の鄙には珍らしき金髮婦人が入り込みたる事とて近鄕の大評判となり居れり朝鮮人にて露國人を妻とし居るは珍らしき事なりと

あはれ芳ばしく、輝やかしく(二)

御德磨かせ給ふ日嗣の皇子の事ども

金枝玉葉の尊き御身に在しながら皇太子殿下には並々より御情に厚く渡らせられます、學習院に御修學の折、休業時間にはいたいけなるあまた

□華族の子供達が 殿下々々と恰かも普通の友達の樣にお傍に近づき慕ひ馴れ奉つるに對しても更に上下の隔をかまひ結はず、ひたすら勞はりたまふ御心の廣さまた美しさ到底常の人の及ぶ所ではありませぬ、是れ既に天成の御英姿の輝き閃めきて自から備はらせたまふのでございます、また弟宮樣との御仲も至つて睦じく御慈しみあり

□近侍の人々に對 せられては誰彼といふ御好惡の念さらにおはさず、眞に一視同仁御洪德の彌高く在はすと洩れ承はつて居ります、殿下には大正元年から高輪の東宮御所にお在しますがその御日常を拜聞いたしますに夏は五時半、冬は六時より六時半までに御起床あらせられ、如何に寒い時と雖も御直に御寢衣をとりさらせられ

□冷めたきまゝに 御日常の御洋服とお更へ遊ばされる事などは徒らに寒暑を厭ふて無理を言ひ、召使を困しめる下々の子弟の比ではござりませぬ、お寢みは夏は八時過ぎ、冬は七時半から御仕度あり御幼少の折は面白きお伽噺など侍臣より御聞きに入れ申せしも近頃にてはさる事は無いと承はつて居ります、每朝御起床後は直ちに御手水を使はせられ

□御寢衣を洋服に 更へさせられ御父母兩陛下の在せられます皇居の方に向はせ給ひ御遙拜あらせられてのち御外庭を運動あらせらるゝこと約一時間にして御朝餐を聞召さるゝのでございます、日々の御學課については申すまでも無く御起床、御食事、御運動、御入浴、御就寢にいたるまで定めの御時刻は少しも

□御變へ遊ばされず、誠に御規律正しくあらせらるゝと承はつて居ります。

呪び行く中船

海上ロマンスの三　迷信と古き傳說に支配さるゝ彼等

漁獲は前にも記した如く主として石首魚で水揚と共に直ちに鹽に漬け一定の所に貯藏して置くのである中船一艘の水揚高は七山海と延坪島との兩漁場で多い時は三千圓に達し

▼精々四五百圓 に過ぎないが三千圓以上の漁獲は五六年の間に於てホンの一度か二度僥倖に依つて獲られのみで餘は大抵費用倒れに終つて了ふのである、然も忠愍公の加護を信ずる彼等は五年六年の損失も一朝豐漁に遭へば償ひ得て餘りあるものと此れは畢竟するに守護神の我々に對する攝理に外ならぬとして敢へて悲觀せず、寧ろ自分の誠意と犧牲が足らなかつた爲めであると觀念して其の翌年は更らに大なる犧牲を捧げる風がある、併し日に月に發達しつゝ有る漁業界にあつて斯かる

▼迷信と僥倖と 舊き傳說と驚異すべき習慣に依つて營まるゝ漁法の如きがいつ迄も遠海漁業の霸權を握つて居る事の出來得可き筈はない、日鮮併合以來さしもに全盛を謳はれた中船は漸次衰びて鮟鱇網漁船の時代となり今は果敢ない最後を遂げんとして居る中船に就いては種々な怪異に滿ちた出來事や船中の習慣や、迷信があるが、江華島から鮮釣りに來た老漁夫が斯んな事を話つた中船の樣な舊式の漁船は萬一の僥倖を唯一の目的として居るのであるから魚族の來游が思はしくない時はガラリと目的が外れて

▼船中で酒宴を 催したり、食糧品を食ひ込んだ費用を差引けば幾何も殘らない樣な憂目にあつて櫓を押す力も鐘や太鼓で景氣をつける勇氣も無しほく〳〵と歸帆するのが常である、十數年前であつたが斯うした失意の漁夫を乘せた二艘の中船が黄海道の或る小さい島に著くと突然彼等は人家を襲ふて掠奪を始めた、穀物は倉から魚類は活巢から野や牛は野から手當り次第船中に運び入れるや否や逸早く沖をさして逃げ去つたが此時海上は急に荒れて船は波に翻弄され乍ら

▼五晝夜程漂ふ た、流石の漁夫も萬事休して只前非を悔ひ乍らも忠愍公を祈つて居ると六日目の朝『忠愍公が現れて西北の方を指し乍ら波の上に消ゐ去つた』と夢の樣な事を言つた男があつたので無智の連中は之でも言はうか急に勇み立つて西北と覺しき方向指して漕いで行くと七日目の朝遂に島を發見した。一同天にも昇る心地して上陸して見ると其の島は忠愍公の祠られてある延平島で十日前迄は根據地として居つた地點であつた爲め是れ正しく

▼忠愍公の加護 に依る者と一同社前に於て年長者の朴某を慘殺して犧牲とし忠愍公に奉つたとの事であるが呪び行く中船の過去には斯うした傳說的の事實が人知れず幾度か行はれた相である（仁川支局）

被告法廷に泣く

晉州學校組合出納役の橫領事件

熊本縣球磨郡生れ當時慶南晉州面大安洞晉州學校組合出納役伊崎友八(四一)に對する橫領公私文書僞造行使被告事件の公判は廿六日午前釜山地方法院公判廷に於て橋本裁判長窪田檢事の係にて開廷裁判長の訊問に對し友八は一々之れに答へ總べて犯罪事實を是認し檢事の被告の罪狀を舉げて懲役三年を求刑し之れに對し原田辯護士は被告友八は全く不似合な衝交をなし其の交際費に費消し且つ日本人會の際前任者より事務の引繼を受けし時金百數十圓不足せるを其儘に引繼ぎを受けし等費消の一因にて酒色のために公金を費消せしものにあらず且つ被告は改悛の狀著しく本年九月七日夜晉州矗石樓橫絶壁より南江に投身して自殺を圖りしも果たさざりしが全く犯罪は被告の淺慮輕卒に出でしものなれば刑の執行猶豫ありたしと辯論を終り裁判長は二十八日判決の言渡をなすべしと宣して閉廷せしが被告友八は始終首を垂れて涕泣し居たり（釜山）

五名枕を並べて燒死を遂ぐ

江原道伊川郡山內面上下里李乘周所有の水車小屋に於て本月十八日夜李乘周の養母周氏(四一)及び同里の江山(四二)溪山(四二)鄭在恒母金姓女(二九)崔氏(二二)の五名が松明を焚きて夜業をなして就寢したるに午前一時頃其の殘火が藁莚に燃移りて發火し水車小屋一棟を燒失し就寢中なりし前記五名は何れも無慘の燒死を遂げ居るを翌朝里民が發見したり家屋の損害は約十二圓なりと

又も二名燒死

他の一名は生命覺束無し

江原道鐵原郡南面冠岱里金昌甫(五〇)沈三先(三)朴己丑(三八)の三名は十八日同里山中の木挽小屋にて夜業をなし焚火をなして其儘就寢したるに午後十一時半頃殘火より失火して小屋を全燒し昌甫三先兩名は燒死し己丑は半身に大火傷を負ひ生命危篤なりと

小石で不意打ち

山中に待伏せて强奪

慶南咸安郡漆北面槐丹里朴漢柱(三〇)は昌原郡北面乃谷里金寬洪(三〇)方に至り資產家にして博奕好きの男あれば金を巻揚げて分配する故本月十六日夜昌原郡北面乃谷里皮也山の鷄冠まで資金二十五圓を携帶すべしと勸め同人を待ち伏せゐたるに果して寬洪が二十五圓を携へ約束の場所に來りたるより手頃の小石を以て不意に同人を强打し全身に數十箇所の打撲傷を負はせて卽死せしめ金員を强奪して逃走したり急報に依り馬山支廳より檢事出張檢證の上犯人は本月十八日馬山憲兵分遣所の手に檢擧されたり

身から出た錆

咸南北青郡新浦面新浦里土器製造業韓國昌(三六)は恐喝取財犯人として新浦警察署に檢擧せられたることあり其際同署林警部より取調べを受けたるより大に同警部を怨み九月九日匿名を以て咸鏡南道警務部に林警部は黃金洙なるものの犯罪を取調ぶるに際し同人より金二十圓及び豬の肉片足を收賄し以て同人の罪を不問に附したりと痕形もなき虛構の文を記載して誣告し咸興地方法院北靑支廳にて懲役一年の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したるが此程前判決を取消し懲役六箇月に處せらる

コレラ彙報

▲警戒地を解く 二十七日朝鮮官報を以て今回虎疫豫防の爲め警戒區域編入中の仁川港群山港京畿道江華郡沿岸慶尙北道迎日郡沿岸同蔚山郡沿岸慶尙南道昌原郡沿岸同統營郡沿岸等孰れも其の警戒を解かれたり

▲感染して死す 麻浦洞金姓女(一七)は去る十六日龍山憲兵分隊よりコレラ患者として順化院に收容せし實子娄童秀(二)の附添看護中感染し二十三日午後五時二十分死亡せる事二十六日發見されたり

▲疑似と保菌者 高陽郡龍江面東幕上里權姓女(一七)二十六日午前一時發病同日午後二時死亡疑似コレラと決定せり尙同面土亭里金順文(五七)權元順の兩名は檢鏡の結果二十六日保菌者と確定せり

▲全道虎疫累計 二十六日午後六時迄の調査に依れば

▲京畿道計五七三內地人三一朝鮮人五七四滿山一二滿山一保菌三▲忠淸南道計一六內地人三朝鮮人一三群山六益山七沃溝一任實二▲全羅北道計一六內地人三朝鮮人一三▲全羅南道計一三八內地人三三朝鮮人一三八▲慶尙北道計八八內地人一九朝鮮人六九▲慶尙南道計四七八內地人一四四朝鮮人三三四▲黃海道計九五全部鮮人▲江原道計一一▲咸南計二五▲平南計一▲平北計三▲合計一、四六六內地人二四〇朝鮮人一二二五

▲清津の檢疫 南鮮地方の虎疫は本月中旬に至りて遂に元山に襲來し同地に於て六名の患者を出し尙ほ益々蔓延猖獗の兆あり西湖津にも飛火して元山は目的地に指定せらるゝに至りたるが元山とは最も交通頻繁なる清津港の如き何時虎疫の侵入を見るやも圖り難きを以て嚴重消港檢疫を斷行中の處元山が目的地と指定せられたり南方よりの入港船に對して乘船客全部の檢便を爲し元山出帆後五日間に滿たざるものは其間檢疫所に停留する事となれり（清津）

◉善隣商業の遠足　龍山善隣商業學校生徒三百名は二十八日午前五時四十分京畿道廳前の廣場に集合秋晴れの一日を北漢山に登攀する筈なり

◉鐵道倭城野球戰　倭城俱樂部對鐵道俱樂部野球戰は來る三十一日午前十時より龍山鐵道グラウンドにて擧行すべしと

◉正誤　昨日朝刊三面所載の『京城荒しの賊』なる題下の記事に對し左の通り正誤申込ありたり 昨紙三千二百七十九號大正五年十月二十七日朝刊第三面『京城荒しの賊』と題する記事中龍山元町二丁目飲食店玉屋方都在云々と有るは全く事實相違にて營業の爲めに甚だ迷惑を感じ候に付此全文を揭げ正誤相成度候也 大正五年十月二十七日京城府龍山元町二丁目九十番地 玉屋事虎木かめ 印 京城日報社御中

秋冬服地新荷着

セビロ三ツ揃、オーバコート、インバネス

金十六圓均一
金十八圓均一
金二十圓均一
金廿二圓均一

氣の利いた高尙の品澤山荷着價は安くてスタイルの良い備の裁縫

東京麴町區山元町
貳丁目角電話番町
一〇二一、四六六番

地方郵券十錢添へ概略服種類在段等御申越次第見本及寸法用紙御送附す

關根商會高等洋服店

保險金領收廣告

一金五百圓也　被保險者　高田サツ

右は太平生命保險株式會社と昨年四月契約致居候處今般死亡に付敏速に保險金の支拂を受け候

茲に同社の確實にして懇切なる事を謹告候也

大正五年十月二十七日

保險金受領者　高田市三郎

國定理科教科書聯絡　四六版上製▲頗る美本▲定價各冊金卅錢▲送料各冊金六錢

小學理科お伽　五學年上　五學年下　六學年上　六學年下

藤川淡水先生著

國定修身教科書聯絡

修身文庫お伽　四學年　五學年　六學年

著者は修身文庫お伽各學年にて少年少女諸君とおなじみのむづかしい理科書の意味を自然と分らしむる樣、しくんだもの、池田淡水先生、例に依り面白おかしくお伽噺を讀んでる內にあの目を進ろかしむ。修身文庫同樣多大の好評を得べきを疑はず。

◎全部完結　各冊何れも好評重版▲定價各冊金卅錢送料各冊金六錢

發行所　東京神田小川町　振替一三三三六　敬文館　（電話本局四八五五）

診察時間　自午前九時至午後六時

初診の御方は可成午前中

京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）

シメノウチ齒科醫院　電話八二一番

日韓書房

新版報告

泉鏡花著　由縁文庫　定價金壹圓二十錢送料十二錢

福澤桃介著　予の致富術　定價九十錢送料十錢

中原南天棒著　機略縱橫　定價九十錢送料十錢

長塚節著　土　定價九十錢送料十錢

樗牛全集六卷　日記及消息　定價九十錢送料十錢

京城本町二丁目　電話朝鮮一四五五一番　振替口座二一四二番

貯蓄預金　元金百圓ニ付日步壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番

同龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

女鳩

渡邊默禪

【一四四】返事

鳩子は住江に宛て下のやうな返辭を書いた。

十六日にお出しになつたお手紙はちやうど五日目にこちらに著きました。汽車を下りてから人の背に乘つて、一丈の餘もある雪の中を通つて、それから海拔何千尺といふ高い峰の、その又谷の谷の底まで來るのだからね。おくれるのも無理はないわ。これでも早い方よ。小包有難う。いろ〳〵と心を籠めた贈物ね。お父樣も大野さんも大悦び。私しほんとに嬉しかつたわ。來た時分はそんなでも無かつたけれど、此頃ではもう〳〵都が戀しくつて仕樣がないのよ。今居る所はね。朝日嶽のずつと奧で地獄谷と土地の人が言つてゐる名からして恐ろしい所よ。深い〳〵雪を掘つて、穴倉のやうな小屋をこしらへて、みんな其中に入つてゐるの。一週間は吹雪でどうすることも出來なかつたけれども、昨日初めて狩に出てね。大きな熊を二頭とつたのよ。私しすんでのこと熊に咬つかれて殺される所だつたの。今でも動悸がとまらないくらゐ、ほんとに怖かつてよ。いろ〳〵びつくりさせるやうなお話はあるけれども、それはお土産よ。よくつて。

庭の梅が滿開ですつて。さぞ見事でせうね。殘念にも見られないのね。歸る頃はもう散つてゐるでせう。だけども櫻が見頃よ。お父さまも其外の人もルイスも皆な元氣よ。安心して頂戴な。もう習慣になりつけてゐるからどんな不自由も平氣だけれど、私の好きなバナナ、と鳳梨が食べられないでせう。それが一番苦痛よ。蜜柑はあるけれども不味いの。秀さまのことを詳しく知らせてくれて有難うよ。私し隨分驚いたわ。こんな驚きかたをしたのは生れてから始めてよ。ほんとに大變なことが出來てね、住江。お前の心配も忠告も教訓も、みんな眞實から出た心の響だから、私しは感謝して受取ります。嬉しく〳〵思ひます。お前が内の家庭のために盡してくれる眞心は、實に實上にも換へ難い一大恩惠だと思ひます。

私し其事について昨日から今朝にかけていろ〳〵と考へて見ました。事實昨晩なんかはまんぢりともしませんでした。さて考へた結果として、私しからお前にお願ひしたいことが、二つ三つあります。どうぞ聞いて頂戴。

その一つは、お前がどんなに無念であらうと、どのやうに腹立しからうと、それをじつと堪へ忍んで戴きたいといふことです。

一つは、秀さまがどんな事を爲さらうと、爭はずに。默つて見ていたゞきたいのです。たとへ私しの眞實の姉上樣にないにもせよ。やはり姉上だと思つて、主人に對する相當の禮節を守つて下さい。侮らないやうに、憎まずに、呪はずに、ね、どうぞ。

一つは此の秘密を一切洩らさないやうに注意をして下さい。

私しからこんなお願をするのはお前にとつて非常な苦痛でせう。不合理な註文かも知れません。慘酷な、常識のない鳩子だとお思ひかも知れないけれど、私しに對してつくしてくれるお前の眞心を徹底させようとするには、無理にも是非だけのことを守つて貰はなければなりません。私しは是非お前の眞心を徹底させたいと切實に祈るのです。それゆゑ此樣にお願するのでどうか私しの心も汲分けて下さい。尤もどう徹底させるかといふことは、此手紙には書きません。只私しの定つた考は直接秀さまの心に觸れてから實現されるとです。父上に此事を話すか話さないかといふとは、私の自由撰擇にまかせて下さい。たゞ私しがこれについて堅い覺悟と自信とを持つて居るといふとだけを承知して置いて下さい。

もう程なく歸京します。私は急に獵といふものが厭はしくなつてよ。たとへ小さな動物にもせよ、自分の生活に何等のかゝはりもない生物を娛樂のために屠るといふそんな無慈悲な話はないわ。今までその慘忍を平氣で繰かへしてゐたのは、全く私しの心と矛盾した行ひなの。私しはもう狩を止めます。左樣なら御機嫌よう。

住江どの　　はとゐ

桂月香

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商
月本政次郎商店
京城明治町二丁目 電話二二八番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ
鳥毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行
電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

本町二丁目三越向 電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫學士 野田應治

濃化粧の艶

化粧によつて表るゝ生きた色艶
秋の着物にふさはしき化粧の法

中村歌右衛門談

(ミツツ文展五●一〇一)

お化粧をいたしますのは左官屋さんが壁を塗りますのとは違ひまして只べた〳〵と白粉を平に塗ればよいと云ふものではございません人形や石膏細工ではないので生た人間ですから生々とした色艶が化粧によつて表はれなければ折角化粧をしながら化粧によつて顏を殺してしまふと云ふものでございます。では生きた化粧をしますには如何したらよからうかと云ひますれば先づ化粧の土臺になります地肌から整のへてかゝらなければなりません。地肌を整のへますには皮膚を清潔にし皮膚を大切にしまして持つて生れた素地の美しさを磨き出して健やかに美しく保つて行くことでございます。先づ毎日の入浴と毎朝の洗面化粧の都度に皮膚の營養を助けるミツワ石鹸を使つて皮膚の整のへる注意を怠らない樣にしなければなりませんミツワ石鹸は專門家に伺ひますと不純な混合物のない遊離の脂肪と遊離のアルカリもない化學上の純石鹸、あります上に原料にいゝ脂肪を使つて日本人の皮膚の生理狀態に適する樣に特に研究して精製された理想の石鹸で、使ひ心地の宜しいことは勿論皮膚を整のへますには缺く可からざるものでございます。先づ入浴の際にお湯で濡れて肨かになつた皮膚に此のミツワ石鹸で擦ると、を溶いた樣に白い泡沫を塗りまして靜かに撫でますと皮膚の汚垢は此の石鹸の作用で吸はれる樣に泡沫に混りますから此をお湯で洗ひ流しますと、するりと氣持よく流れて皮膚は生々として清潔になり營養は助けられて皮膚の機能は健やかになり皮膚が整へられて白粉ののりものびもよくなつて來て自在のお化粧が出來る樣になります。此からの秋ならば召物も幾分お色氣の濃い目のものになりますから化粧も自然と夏の薄化粧ではうつりあひませんから濃化粧が多くなつて參りますが此の濃化粧も地肌が整のつて居りますと樂に出來て行きます。先づ煉白粉から初めまして煉白粉を際立ちません樣に二重に塗りまして出來上りましたら塗刷毛へ化粧の水を含ませてそれへ煉白粉をつけ眉間から鼻頭へかけて塗下し次に兩頬へ塗廣げて顎の所へ持つて來て手際よく樣に白粉と調合せます。目の周圍だけは塗ずに殘して置いて次に水刷毛で萬遍なく白粉を塗り延べて均します時に手加減で目の周圍へ白粉を伸ばすと此部分が外より薄くなつて美しい化粧振になります。水刷毛で一わたり均しましたならば今度は叩き刷毛を用ゐまして白粉を落つけて水氣を取去りますとほんのりと艶はしい色澤が出ますそれから濡手拭を指先へまきまして生際の毛、眉毛、睫毛、唇などについた白粉を丁寧に拭き取りまして此指さきに一寸紅をつけまるく唇につけ舌先で輕く窄めますと小い色合になります。其上で刷毛に粉白粉をほんのりと輕く叩き刷毛に含ませて顏の缺點を補なつて仕上をしますと見上る樣に美しい化粧振になります。

▲中村福助曰く

少々髪をのばして居りますので、髪油は何のかのと皆樣に選んで見ましたが髪油はミツワ椿油が一番です、持ちもさう申して居りますから、御婦人方の髪油としましても申し分のないことが分ります。普通の椿油と違ひまして色に赤味はなし、臭はなし、附めて見まして清味がすこしもありません。髪は之で發育がよくなりますし、裂毛切毛がなくなる頭垢に髪が出て艶い髪になります。

新刊書御案内

書名	著者	定價
債權者の法律顧問	森健宗特	一、八〇
亂文講話	山本良	一、八〇
製村術	山田太郎	一、五〇
世間學	浪六	九五
讀方教授實際案	小林佐源治	下卷九〇
放浪漫記	大谷光瑞	三、〇〇
日蓮主義講話	小林一郎	一、三五
名犬物語	加藤朝鳥	九五
八犬傳物語	大町桂月	九五
柿本人麿	尾山篤二郎	六〇
誰にもできる廢物利用法	河口愛子	三五
人生の旅行	村上浪六	九五
成金物語	平山伊之助	一、四〇
戀愛期に入れる少女	淺田正文	八五
一喝	禪南天棒	九〇
禪窓閑話	菅原時保	九〇
牧野トム	岩崎保	一、〇〇
書簡文 話及文範	芳賀矢一	特一、三〇
髙龍未來記	野元北馬	特三五
算術の解き方	岡田昇一	五五
教師の歌へる	藤田鎮之助	六五

京城本町 大阪屋號書店 電話二一八六 振替京城三二

りん病 ばい毒
到る所に僞ドラッグあり藥に大阪竹田鑑製の印無き物は凡て僞物なり。
京城龍山漢江通小學校前 ドラッグ商會支店
一劑 一週間 一圓 特製 一週間 一圓三〇錢

大日本優等清酒 ハックル
品質純良 衛生無害

醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五番

内科 小兒科
京城本町二丁目(丸角會社向側)
芙蓉醫院
醫學士 森定吉
電話二六三番

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町一丁目 發賣元 櫻正宗 山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番

朝鮮土產

畏くも伏見親王の御宮家の御用命を拜したる人蔘界の大王
純人參精腦を召上れ
◎精力忽ち旺盛となり疾病に對する抵抗力を強大にす
主治效能(内用)(外用)
正價 內用十五入 十日分 金七十錢　同二十五入 二十日分 一圓四十錢　同三十五入 三十日分 一圓八十錢　同六十五入 六十日分 三圓二十錢　同九十五入 九十日分 四圓五十錢
◎本劑の奏效絶對に確實なるを普及する爲
當分定價の二割引 葉書の御申込に應ず
京城長谷川町五八
朝鮮製藥專賣所
電話一三〇九番・振替京城三八一〇番

阿波共同汽船仁川出帆
○第一共同丸 ○芝罘、大連行 十月廿九日後四時入 十月三十一日正午出帆
朝鮮總督府命令航路 大連にては青島行定期船と接續貨物取扱仕候 阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會
春日町(電話二四七番) 元山代理店 田口回漕部
南大門(電話二六八・二〇一七) 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 十一月一日 釜山發
○京畿丸 十一月十六日 釜山發
○黄海丸 十一月十六日
○咸鏡丸 十一月十二日 釜山發
門司より釜山各港寄港雄基間航路
○穩城丸 十月廿九日 元山發
○昌平丸 十一月四日 元山發
○鏡城丸 十一月二日 元山發
元山より各港經由雄基行
○第二錦旗丸 十一月七日 元山發
○忠清丸 十一月一日 元山發
○平壤丸 十一月十三日 元山發
城津清津浦項行復航釜山より門司又は長崎行
○盈德丸 十一月十三日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 毎日 釜山發
○襄陽丸 毎日 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 十月三十日 釜山發
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
○濟州丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○統營丸 各港經由鵲水行 一日一回水浦行
○順天丸 三日目毎 木浦發
各港經由麗水より釜山行(往復)
○慶興丸 十月廿九日 木浦發
各港經由濟州島行(西廻)
○慶興丸 十一月二日 木浦發
南多島海方面行(月三回)
○公州丸 十一月三日 木浦發
各港經由濟州島行(東廻)
○宗信丸 十一月三日 仁川發
海州他各港經由、德洞又は白翎島行
○江原丸 十月廿九日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 十一月一日 十月廿八日 仁川發
各港經由木浦行
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
江華島、桐島、海州行
鐵道院及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は本社(電話長一九五二番二三二一番)支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度
京城荷客取次店 京城南大門驛前 松原運送店(電話長一七〇番)

大阪商船仁川出帆
○外航路同航路連絡航路を除く 出港後何時も五分以前を以て連絡切符發賣候
××○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
○薩摩丸 十月三十日 後五時出
×濟州丸 十一月六日
×天智丸 十一月六日
××○木浦、釜山、麗原、鄕の浦、長崎行
○信濃川丸 十一月七日 後二時出
×信濃川丸 十一月廿五日
△△○群山、釜山、横濱行
○福州丸 十一月十七日 後二時出
△潮州丸
×○南浦、關門、神戸、大阪行
○南浦丸 十月廿九日 正午時出
×日米丸
△○釜山、横濱行
○福州丸 十一月三日 正午出帆
××○鎮南浦、大連行
○鎮南浦丸 十一月二日 後二時出
×信濃川丸 十一月廿日
△△○大連直行
○福州丸 十月廿八日 正午出帆
△潮州丸 十一月十三日
○×鎮南浦、龍岩浦、安東縣行
○鎮南浦丸 十月 日 正午出帆
×日米丸
▲○清津、浦潮行(元山出帆)
○八城津西、津ニ寄港浦潮不寄港
▲印平丸 十一月十五日 後二時出
▲安平丸 十一月一日
○宮島丸
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
○基隆丸 十月廿九日 後四時出
▲湖北丸 十一月十三日 前六時出
御注意 ◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との連絡切符發賣仕候 ◎御乘船各位へは出帆一時間前迄に旅客手荷物の無賃運送取扱仕候 ◎×印は荷客扱は二十前日迄に受付る事
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二一〇番五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
◎滿洲中國四國沿岸各港航路各に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

大阪三品特電
見
二月限 一七七、五〇
三月限 一七七、三〇

下關期米特電
十月限
十一月限 一七七、八〇

▲二十七日後場浜州仮寄十五圓二十七錢東京十四圓三十五錢大阪州北十五圓四十錢後寄二十六錢の入電にて高知常州米不申中十二圓四十錢より二錢を擔げ一錢引先十一圓八十一錢と三錢安に寄付一錢と擔げ保合の折捌大阪四圓四十錢五圓四十四錢高移りて實物現れ一圓九十錢

ろが全より目立ちたる賣物現はれたるも其他よりし賣物多く分より損く買向ひたる其他よりも買ありしも八十四錢と押し七錢と返し六錢と軟合を省けたり市況は依然展開する振り合なきも大阪の五十錢を傳へて九十錢を飛付くるが四

▲今能く賣る 今後場商店すり賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事にて市場困敗の折捌稍註目を惹いたり

▲今能く買ふ 後場商店より買たる玉數三千餘石に

▲現物界 場漸上十四三十四圓

買向は人氣勢なるが今の三千餘石買た始めとし寒の各二千餘石等にて硬軍の陣中世色めき立ちたる者の如し此月末に際し果して硬軍の活氣し來るや否やは今後大阪の成行と相俟つて割目するの要あらん

八十一錢二錢一錢四八十一錢四九十錢八十八錢
九錢八錢六錢五錢六錢五錢四錢三錢四八十五錢
六錢五錢六錢七錢六錢七錢六錢

二十七日の十二月限

寄付 十一圓八十一錢
止 十一圓八十十一錢
高値 十一圓八十六錢
安値 十一圓八十六錢
場 十二月限 六千五十石

の小熊現はれたりとの報に接し同面居住の美根伍外三名が銃器を携へ搜索して發見し直ちに射殺したるに又一頭の大熊現出したるを以て再び